

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-9

< 28週 > ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている / その他最新動向

< 6月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症について



注目すべき感染症
P.10-12

< 百日咳 > 2008年の定点当たり報告数は、第22週をピークとした大きな山が認められたが、そのピークを過ぎた後も過去10年間の同時期と比較して高い状態が続いている



病原体情報
P.13-16

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年 / エンテロウイルス71型とA群コクサッキーウイルス16型 2008年



速報
P.17-22

コレラ 2007年(2008年5月17日現在) / 平成19年度における麻しん風しん混合ワクチン(第2期)の定期予防接種の取り組みについて / 寿司および会席料理が原因と推定される毒素原性大腸菌 O27:H7の集団食中毒事例 - 千葉市



海外感染症情報

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話
P.23

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(28週)
P.24-29



グラフ総覧(6月)
P.30-34



6月のデータ
P.35-37



28週のデータ
P.38-50



発生動向総覧

2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

< 第28週コメント > 7月16日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核324例

3類感染症

コレラ1例

感染地域: インド

細菌性赤痢9例

感染地域: 神奈川県1例、メキシコ3例、中国1例、タイ1例、インドネシア1例、インド1例、インド/ネパール1例

腸管出血性大腸菌感染症102例(有症者84例、HUS2例)

感染地域: 国内102例

年齢群: 1歳(3例)、2歳(4例)、3歳(5例)、4歳(3例)、5歳(2例)、6歳(4例)、7歳(4例)、8歳(2例)、9歳(4例)、10代(14例)、20代(19例)、30代(12例)、40代(9例)、50代(7例)、60代(4例)、70代(5例)、80代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT α (36例)、O157 VT α (35例)、O26 VT τ (11例)、O157 VT τ (3例)、O25 VT τ (1例)、O103 VT1(1例)、O111 VT1(1例)、O111 VT1・VT α (1例)、O115 VT1(1例)、O145 VT1(1例)、O145 VT α (1例)、その他・不明(10例)

4類感染症

E型肝炎1例

感染地域: 宮城県

感染源: 不明

A型肝炎4例

感染地域: 大阪府1例、奈良県1例、韓国1例、ウガンダ/ケニア1例

エキノкокクス症1例

多包条虫__感染地域: 北海道

つつが虫病1例

感染地域: 新潟県

日本紅斑熱2例

感染地域: 島根県1例、広島県1例

マラリア1例

熱帯熱__感染地域: ベナン

レジオネラ症16例(肺炎型16例)

感染地域: 群馬県2例、神奈川県2例、宮城県1例、埼玉県1例、千葉県1例、東京都1例、新潟県1例(温泉)、長野県1例(温泉)、静岡県1例、大阪府1例、愛媛県1例、熊本県1例、鹿児島県1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群: 40代(1例)、50代(4例)、60代(5例)、70代(4例)、80代(1例)、90代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢3例(腸管アメーバ症3例)

感染地域:東京都1例、愛媛県1例、福岡県1例

感染経路:性的接触1例(異性間)、不明2例

ウイルス性肝炎4例 B型肝炎4例__感染経路:性的接触(異性間)3例、不明1例

クロイツフェルト・ヤコブ病5例(孤発性プリオン病古典型5例)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

年齢群:30代

後天性免疫不全症候群14例(無症候11例、AIDS 3例)

感染地域:国内12例、国外2例

感染経路:性的接触11例(異性間4例、同性間6例、異性間・同性間不明1例)、不明3例

ジアルジア症1例 感染地域:埼玉県

梅毒12例(早期顕症I期4例、早期顕症II期1例、無症候7例)

破傷風2例 年齢群:80代(2例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例

遺伝子型:VanC 1例__菌検出検体:血液

遺伝子型:不明2例__菌検出検体:血液1例、尿1例

風しん4例(臨床診断例4例)

感染地域:北海道1例、茨城県1例、大阪府1例、島根県1例

年齢群:1歳(1例)、3歳(1例)、50代(2例)

麻しん149例[麻しん(検査診断例26例、臨床診断例106例)、修飾麻しん(検査診断例17例)]

感染地域:国内149例

国内の多い感染地域:千葉県35例、神奈川県33例、北海道20例、東京都11例、京都府10例

年齢群:0歳(12例)、1歳(9例)、2歳(4例)、3歳(1例)、4歳(2例)、5～9歳(19例)、10～14歳(22例)、15～19歳(36例)、20～24歳(19例)、25～29歳(6例)、30～34歳(8例)、35～39歳(8例)、40代(3例)

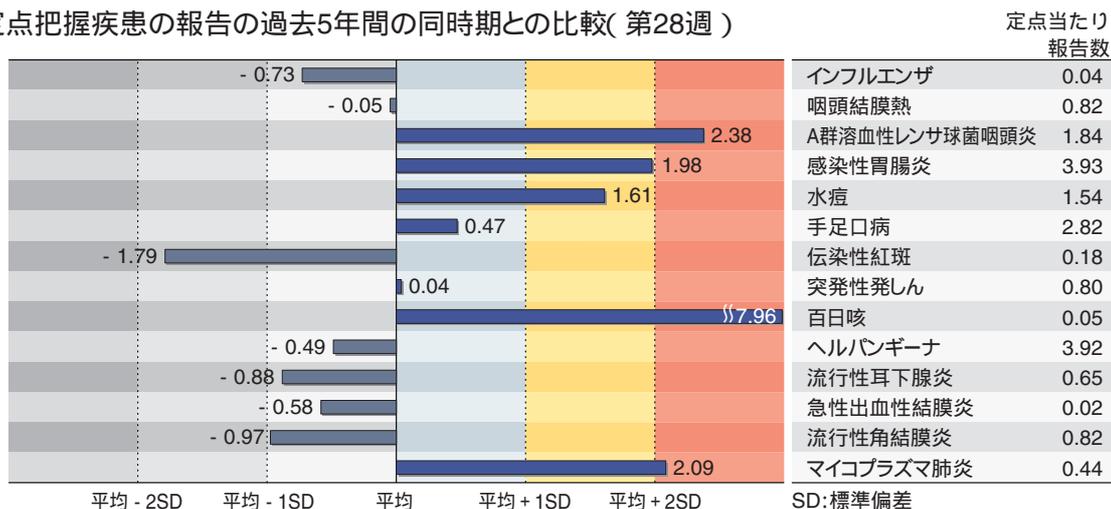
累積報告数:10,232例[麻しん(検査診断例2,822例、臨床診断例6,529例)、修飾麻しん(検査診断例881例)]

(補)他に2008年第27週までに診断されたものの報告遅れとして、パラチフス2例(感染地域:インド2例)、デング熱4例(感染地域:ミャンマー2例、カンボジア1例、タイ/ベトナム1例)、クリプトスポリジウム症1例(感染地域:兵庫県)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(80代)、髄膜炎菌性髄膜炎1例(60代、感染地域:福島県)、風しん4例[検査診断例1例、臨床診断例3例、感染地域:北海道2例、茨城県1例、東京都1例、年齢群:4歳(1例)、5歳(1例)、15～19歳(1例)、40代(1例)]などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第28週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は第22週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(2.05)、千葉県(0.13)、京都府(0.10)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症は176例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では鹿児島県(2.22)、新潟県(1.85)、埼玉県(1.30)、大分県(1.22)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では埼玉県(3.5)、千葉県(3.1)、富山県(2.8)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第22週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では大分県(8.0)、宮崎県(5.9)、熊本県(5.8)が多い。

水痘の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では長野県(3.04)、福井県(2.41)、福島県(2.40)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第15週以降増加が続いている。都道府県別では宮崎県(12.0)、鹿児島県(9.1)、三重県(9.0)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(0.60)、岩手県(0.48)、埼玉県(0.47)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では石川県(0.17)、広島県(0.14)、福岡県(0.14)が多い。

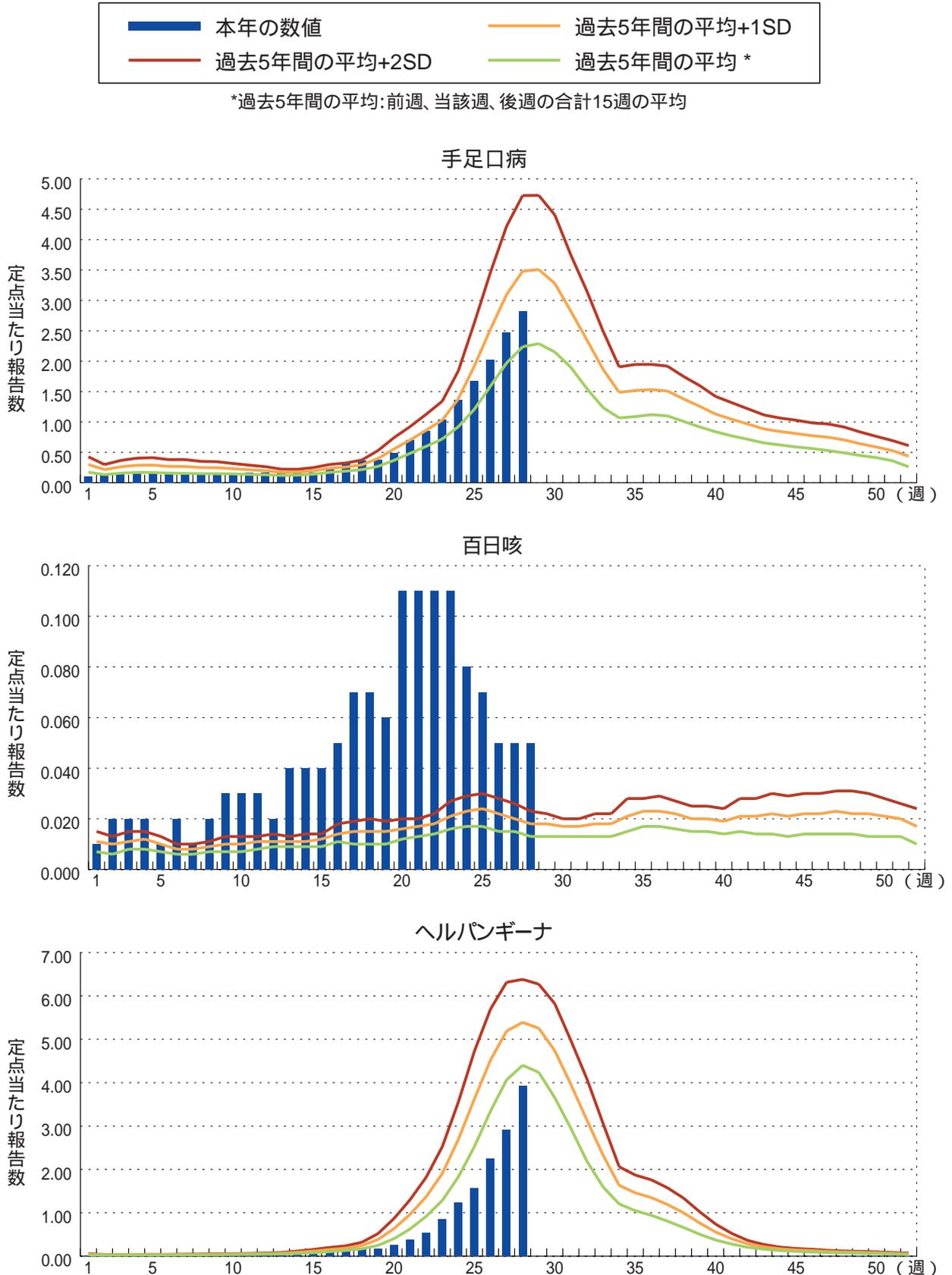
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別では愛媛県(9.6)、群馬県(7.5)、埼玉県(7.3)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では佐賀県(2.65)、宮崎県(2.56)、岐阜県(2.17)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.6)、福島県(2.0)、青森県(1.3)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2008年第1~28週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



6月コメント

性感染症について(7月10日集計分)性感染症定点数 970

(産婦人科・産科・婦人科:466、泌尿器科:397、皮膚科93、性病科14)

月別推移

2008年6月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が2.73(男1.17、女1.55)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.75(男0.30、女0.45)、尖圭コンジローマが0.52(男0.27、女0.25)、淋菌感染症が0.84(男0.67、女0.17)であった。男性では性器クラミジア感染症、次いで淋菌感染症が多く、女性では性器クラミジア感染症、次いで性器ヘルペスウイルス感染症が多かった(図1)。前月に比べると、男性では性器クラミジア感染症は増加し、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症は減少した。女性では性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマは増加し、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症は減少した(30～33ページ「グラフ総覧」参照)。

男女別に過去5年間の同時期と比較すると、性器クラミジア感染症は男女ともにやや少なかった。性器ヘルペスウイルス感染症は男女ともかなり少なかった。尖圭コンジローマは男性でかなり少なく、女性ではやや少なかった。淋菌感染症は男性でやや少なかった(図2)。

図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(6月)

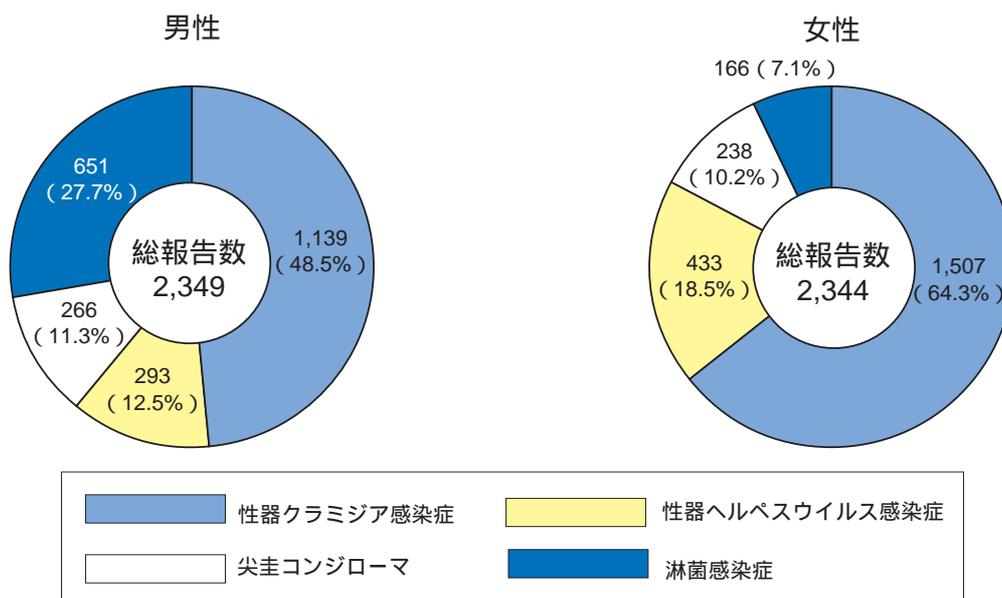
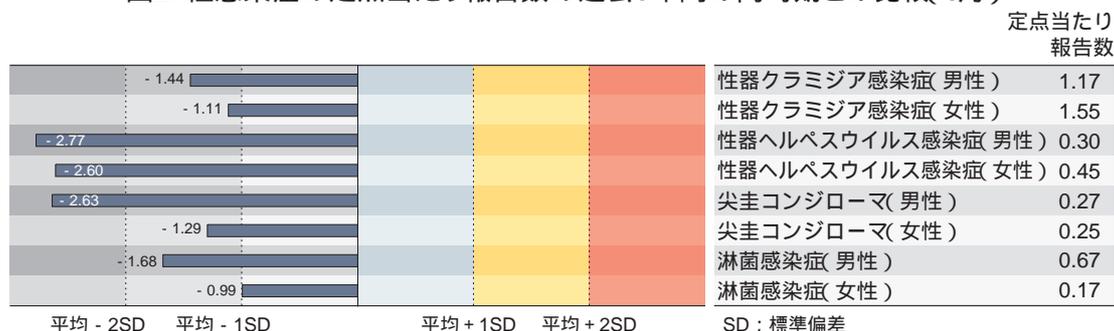


図2. 性感染症の定点当たり報告数の過去5年間の同時期との比較(6月)



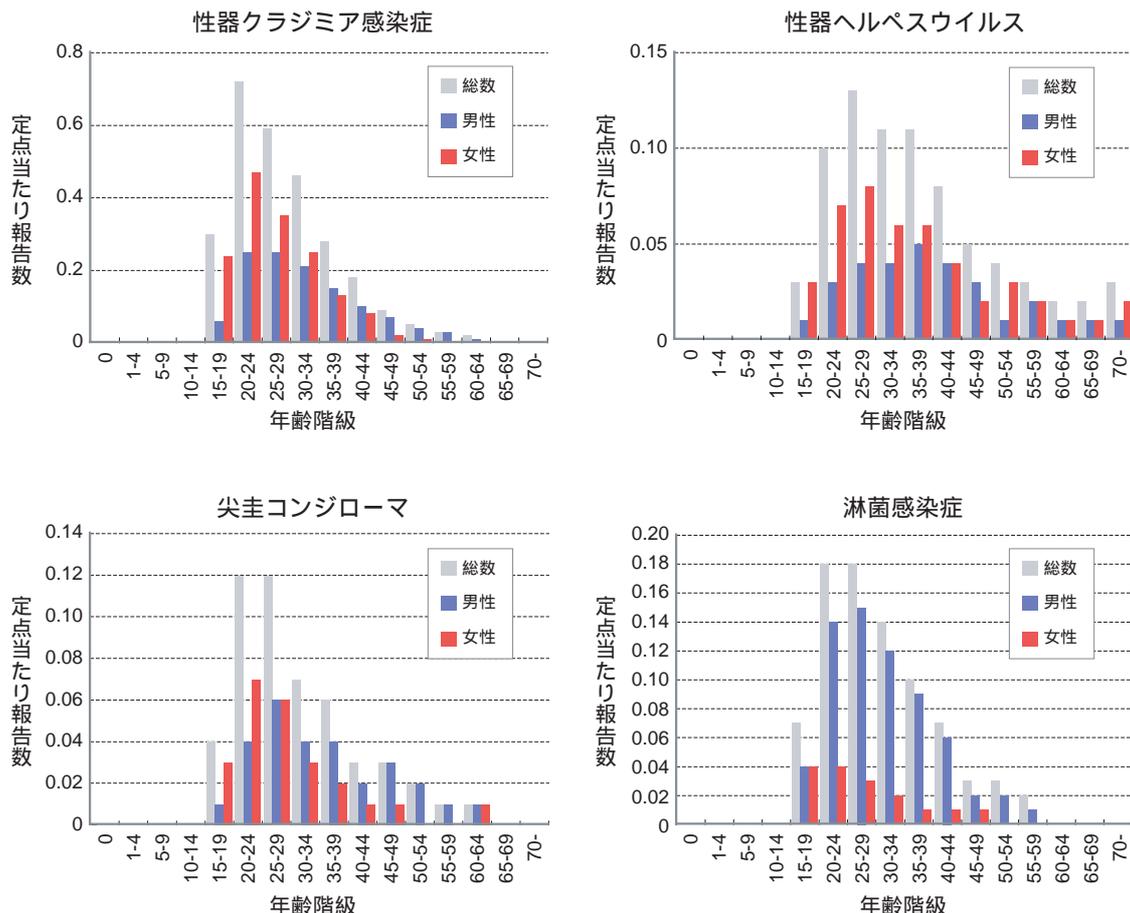
当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)との差をグラフの上に表現した。

男女別・年齢群別

年齢群(0歳、1～4歳、5～69歳は5歳毎、および70歳以上)でみた定点当たり報告数のピークは、男性では性器クラミジア感染症では20～29歳の2つの年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症は35～39歳、尖圭コンジローマは25～29歳、淋菌感染症では25～29歳の年齢群であった。一方、女性では性器クラミジア感染症は20～24歳、性器ヘルペスウイルス感染症は25～29歳、尖圭コンジローマは20～24歳、淋菌感染症は15～24歳の2つの年齢群であり、女性の罹患年齢が男性に比べてやや低い傾向が認められた(図3)。また、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の3疾患は、男性では60代以降、女性では50代以降の報告はないか、あっても僅かである。しかし、性器ヘルペスウイルス感染症は男女ともに、50代以降の報告も少なくない。この年齢層は再発例が含まれている可能性が以前から指摘されており、2006年4月の届出基準改正により、抗体のみ陽性のものの除外に加えて「明らかな再発例は除外する」ことが明示された。しかし、報告数や年齢群分布において明らかな変化は見られておらず、この基準変更の周知徹底が必要と考える。

年齢群毎にみた定点当たり報告数の男女の比較では、淋菌感染症では、15～19歳で同値である以外、すべての年齢群で男性が女性より多かった。一方、性器クラミジア感染症では15～34歳の4つの年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症では15～39歳、50～54歳、70歳以上の7つの年齢群、尖圭コンジローマでは15～24歳の2つの年齢群の、比較的若い年齢層を中心に女性が男性より多かった。ただし、性感染症定点は泌尿器科系、婦人科系および皮膚科系などの診療科から構成されており、男女の比較についてはそれらの比率の影響を受ける可能性がある。

図3. 性感染症の性別・年齢群分布(6月)



薬剤耐性菌感染症について(7月10日集計分)

2008年6月の基幹定点総数: 467

定点当たり報告数

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) 感染症

4.38(前月: 4.10、前年同月: 4.40)

定点当たり報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。6月は前月より若干増加したが、過去9年間の同月との比較では上位に属した。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP) 感染症

1.09(前月: 1.07、前年同月: 1.01)

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に多く、夏(7～9月)に少なく推移している。6月は前月より若干増加し、過去9年間の同月との比較では下位に属した。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.09(前月: 0.07、前年同月: 0.11)

定点当たり報告数は、例年後半が前半に比して多い傾向がある。6月は前月より若干増加し、過去9年間の同月との比較では下位に属した。

年齢階級別

MRSA感染症...高齢者に多く、70歳以上が全体の65%を占めている(図1)

PRSP感染症...小児と高齢者に多い。5歳未満が全体の70%を占める一方、70歳以上が全体の15%を占めている(図2)

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く、70歳以上が全体の67%を占めている(図3)

性別(女性を1として算出した男女比)

MRSA感染症...男:女 = 1.7:1

PRSP感染症...男:女 = 1.6:1

薬剤耐性緑膿菌感染症...男:女 = 2.8:1

都道府県別

MRSA感染症...定点当たり報告数は滋賀県(10.4) 新潟県(9.4) 栃木県(8.6)が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は千葉県(8.0) 新潟県(4.0) 東京都(2.6)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...報告総数が42件にとどまるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難である。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

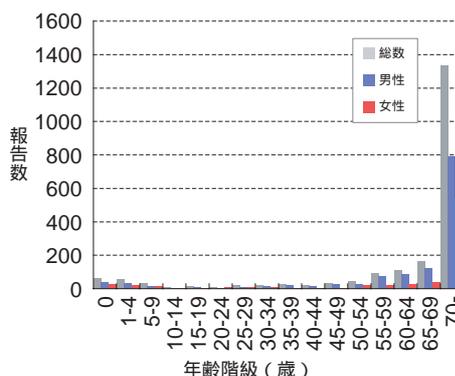


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

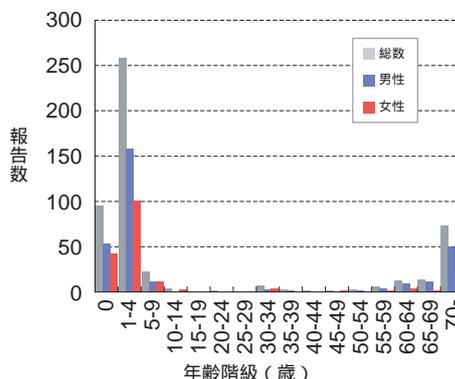
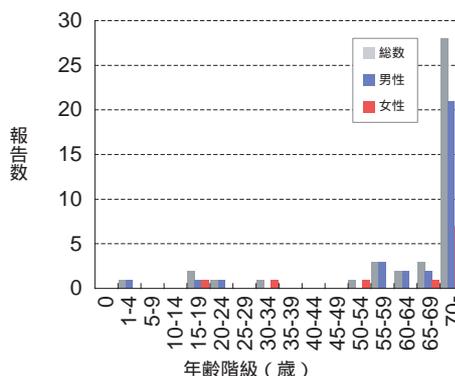


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症





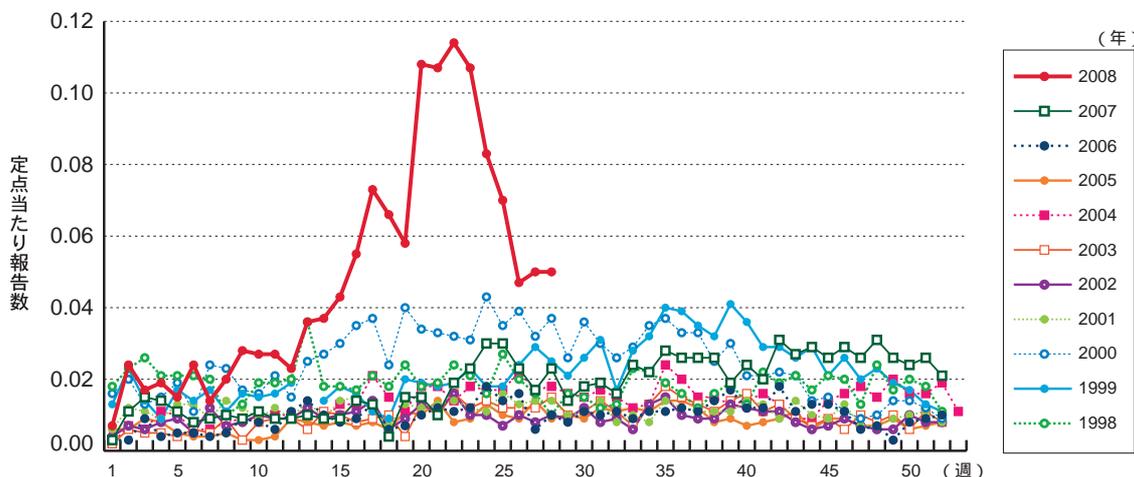
注目すべき感染症

百日咳

百日咳は、好気性のグラム陰性桿菌である百日咳菌(*Bordetella pertussis*)の感染を原因とする急性の呼吸器感染症である。特有のけいれん性の咳発作(痙咳発作)を特徴としており、母親からの移行抗体が有効に働かないために乳児期早期から罹患する可能性があり、ことに百日咳(P)ワクチンを含んだDPT三種混合ワクチンを接種していない生後6カ月以下の乳児が罹患した場合は、未だに死に至る危険性がある疾患である。百日咳はこれまで乳幼児を中心とした小児で流行する疾患とされてきたが、ワクチンの開発・普及と乳児期の接種率の上昇によって、報告数は大きく減少した。だが最近では小児科定点報告疾患であるにもかかわらず20歳以上の成人例の報告数が年々増加してくると共に、報告数そのものも増加に転じている。成人の発生病例は咳が長期にわたって持続するものの、乳幼児にみられるような重篤な痙咳性の咳嗽を示すことは稀であり、症状が典型的ではないために診断が見逃されやすく、感染源となって周囲へ感染を拡大してしまうこともあり、注意が必要である。

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告数に基づいて百日咳の患者発生状況の分析を行っている。2008年の百日咳の週別の定点当たり報告数は、第22週をピーク(定点当たり報告数0.11、患者報告数343)とした大きな山が認められたが、そのピークを過ぎた後も過去10年間の同時期と比較して高い状態が続いている(図1)。第28週の定点からの患者報告数は150例(定点当たり報告数0.05)であり、都道府県別では、福岡県17例、千葉県16例、埼玉県、東京都共に11例、広島県10例、静岡県9例、新潟県7例の順となっている(図2)。第1～28週までの累積報告数は4,093例であり、2000年以降の同時期までの累積報告数と比較しても、これまで最も多かった2000年の累積報告数(2,211例)を大きく上回っている。都道府県別にみると、千葉県558例、広島県361例、福岡県284例、愛知県256例、埼玉県215例、大阪府203例、神奈川県193例、東京都164例の順であり、千葉県からの報告数が最も多い状態が続いているが、最近では福岡県が増加傾向が目立ってきている(図3)。2000～2008年まで(2008年は第28週まで)の

図1. 百日咳の年別・週別発生状況(1998～2008年第28週)



年間の累積報告数の年齢別割合をみると、0歳児、1歳児を中心とした乳幼児からの報告割合は年々低下がみられている一方で、小児科定点からの報告ではあるものの、20歳以上の報告割合は年々上昇しており、2008年は28週までの報告ではあるが、20歳以上の割合は36.6%にまで達している(図4、図5)。

図2. 百日咳の都道府県別報告状況(2008年第28週)

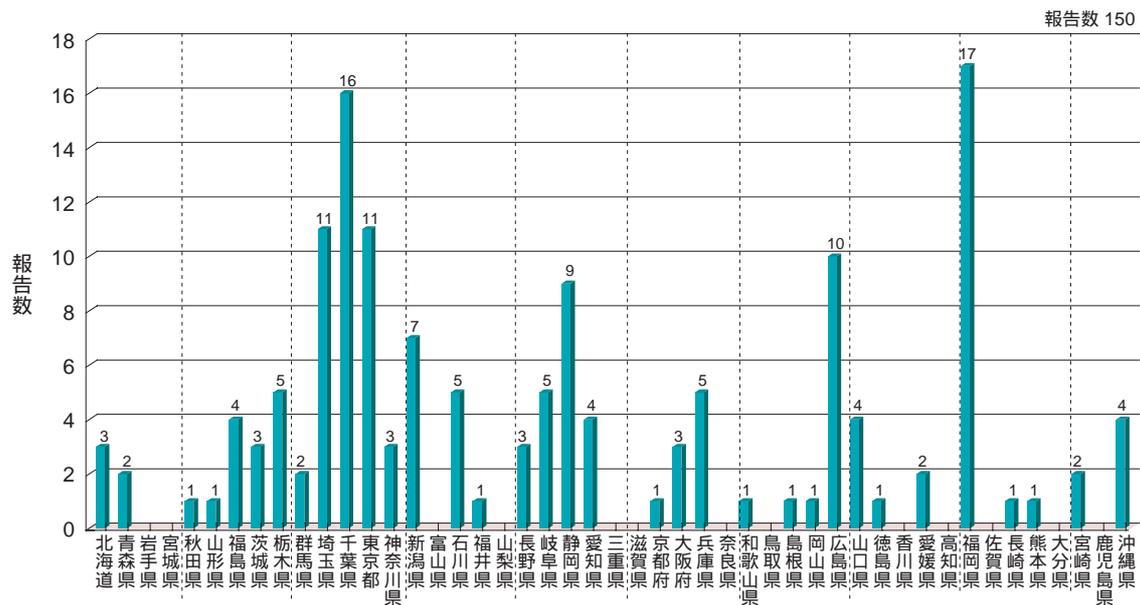


図3. 百日咳の都道府県別累積報告状況(2008年第1～28週)

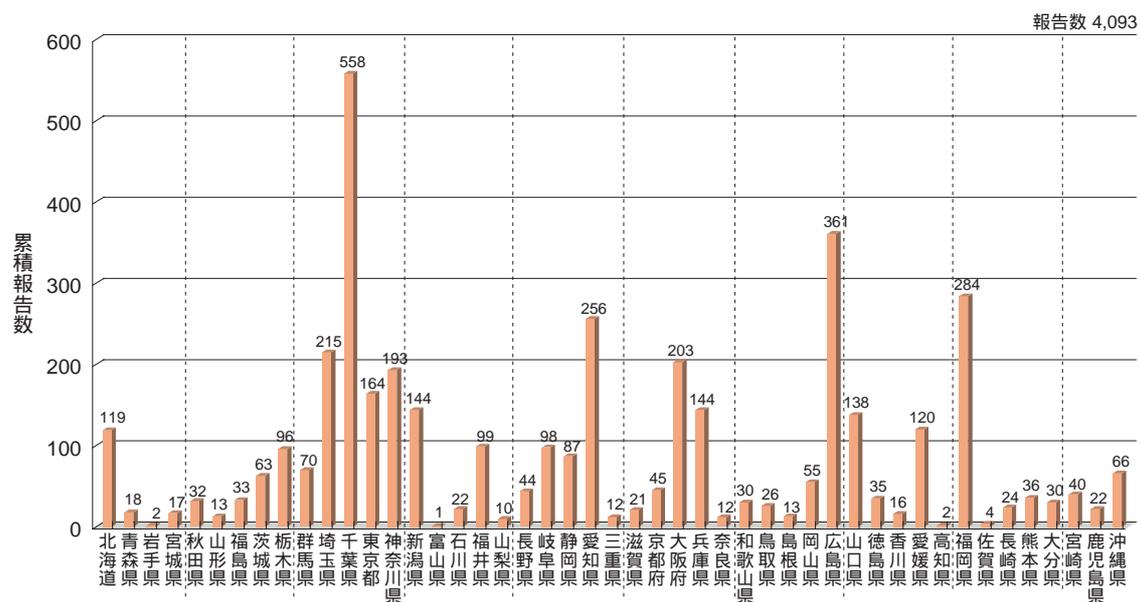


図4. 百日咳の年別・年齢群別割合(2000年～2008年第28週)

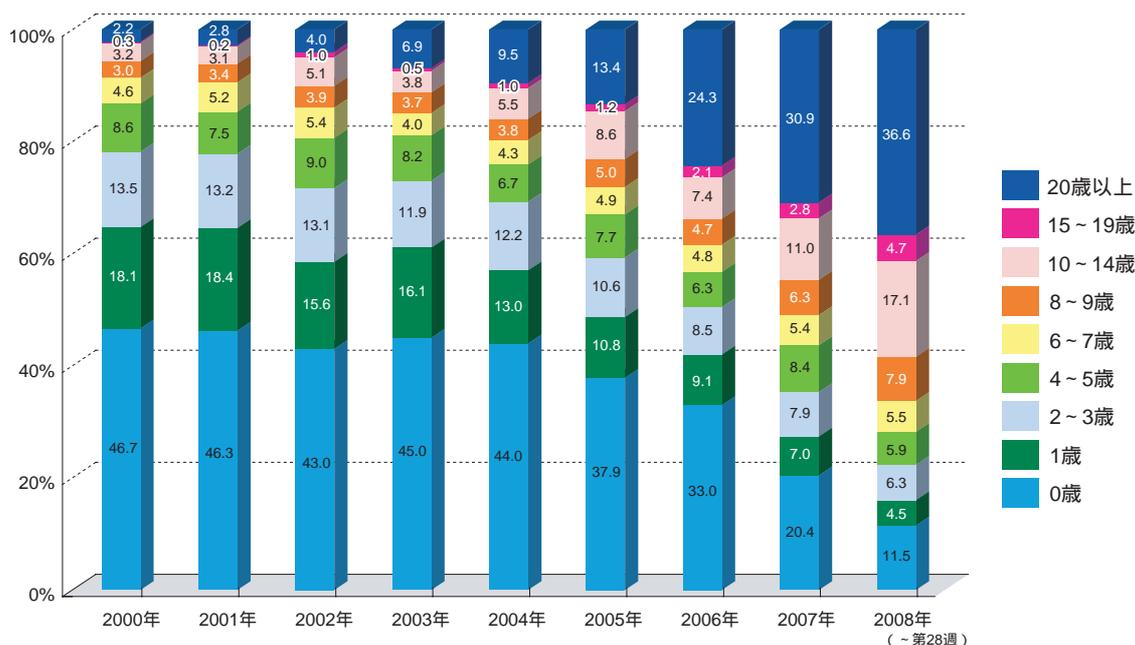
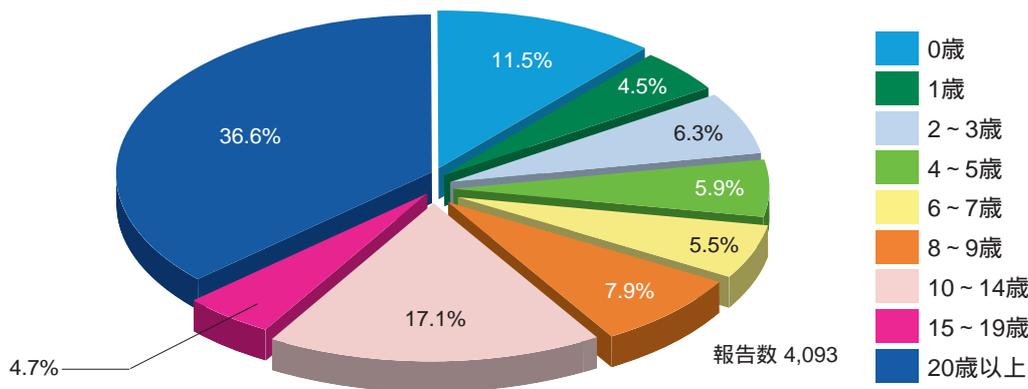


図5. 百日咳累積報告数の年齢群別割合(2008年第1～28週)



かつて百日咳は乳幼児を中心に患者の発生がみられていた。DPT3種混合ワクチンの導入と改良・普及により、患者報告数は大きく減少したが、最近では流行形態そのものが大きく変化し、以前は殆ど問題視されてこなかった成人層における患者報告割合が大きくなると共に、患者報告数そのものも2008年はこれまで大幅な増加がみられてきている。しかし、現在の小児科定点のみからの発生動向調査だけでは、その実態を正確に把握することは困難であり、より正確な実態の把握と対策の立案が急務となってきている。感染症情報センターでは、百日咳を診断した医師よりその情報を発信していただき、その情報を共有・分析するために、「百日咳DB: 全国の百日咳発生状況」(<http://idsc.nih.go.jp/disease/pertussis/pertu-db.html>)を2008年5月8日より立ち上げた。本データベースが、全国の医療従事者や衛生部局関係者で情報共有され、今後の有効な対策の一助となることを期待する。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

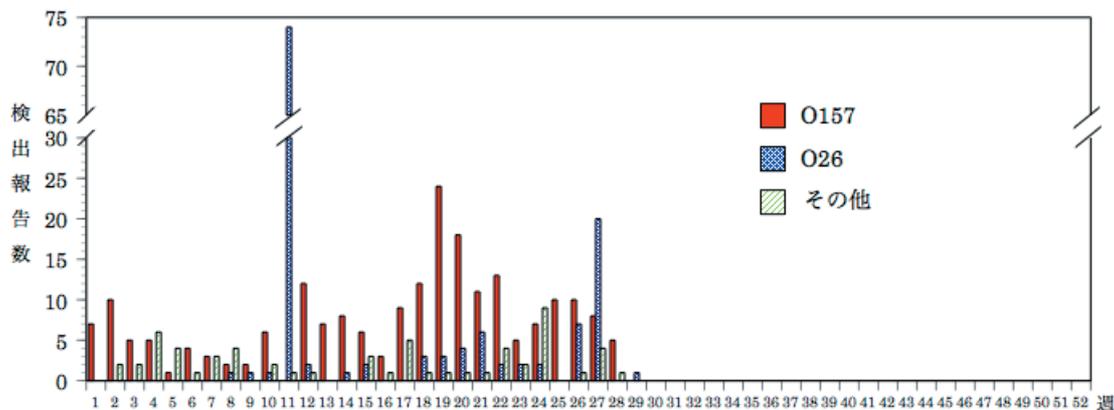
(2008年7月17日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年

2008年の検出総数は405件で、O157が213件、O26が132件、その他の血清型が60件報告されている。O157は岐阜県28件、大阪府19件、愛媛県15件、富山県、福岡県各13件、群馬県、東京都各12件、奈良県10件、長野県、大分県各9件、石川県7件、新潟県、滋賀県、山口県各6件など29都道府県から報告されている。O26は佐賀県76件、富山県26件、宮城県6件など15都県から、その他の血清型は福岡県16件、群馬県8件、東京都、石川県各6件など19都道府県から報告されている。

このうち、集団発生事例ではO157が2008年第10～13週に大分県で9件、第12～13週に島根県で3件、第17週に愛媛県で3件、保育園児と家族から検出され、O26が第10～12週に佐賀県でオーストラリアへ修学旅行に行った集団とその家族から76件、第26～29週に富山県で保育園児と家族から23件検出されている。その他に第14～15週に福井県で飲食店での生レバー等の喫食を原因とするO157集団発生、第21～22週に岐阜県で飲食店でのO157集団発生、第24週に神奈川県でO26集団食中毒が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2008年 (病原微生物検出情報: 2008年7月17日現在報告数)

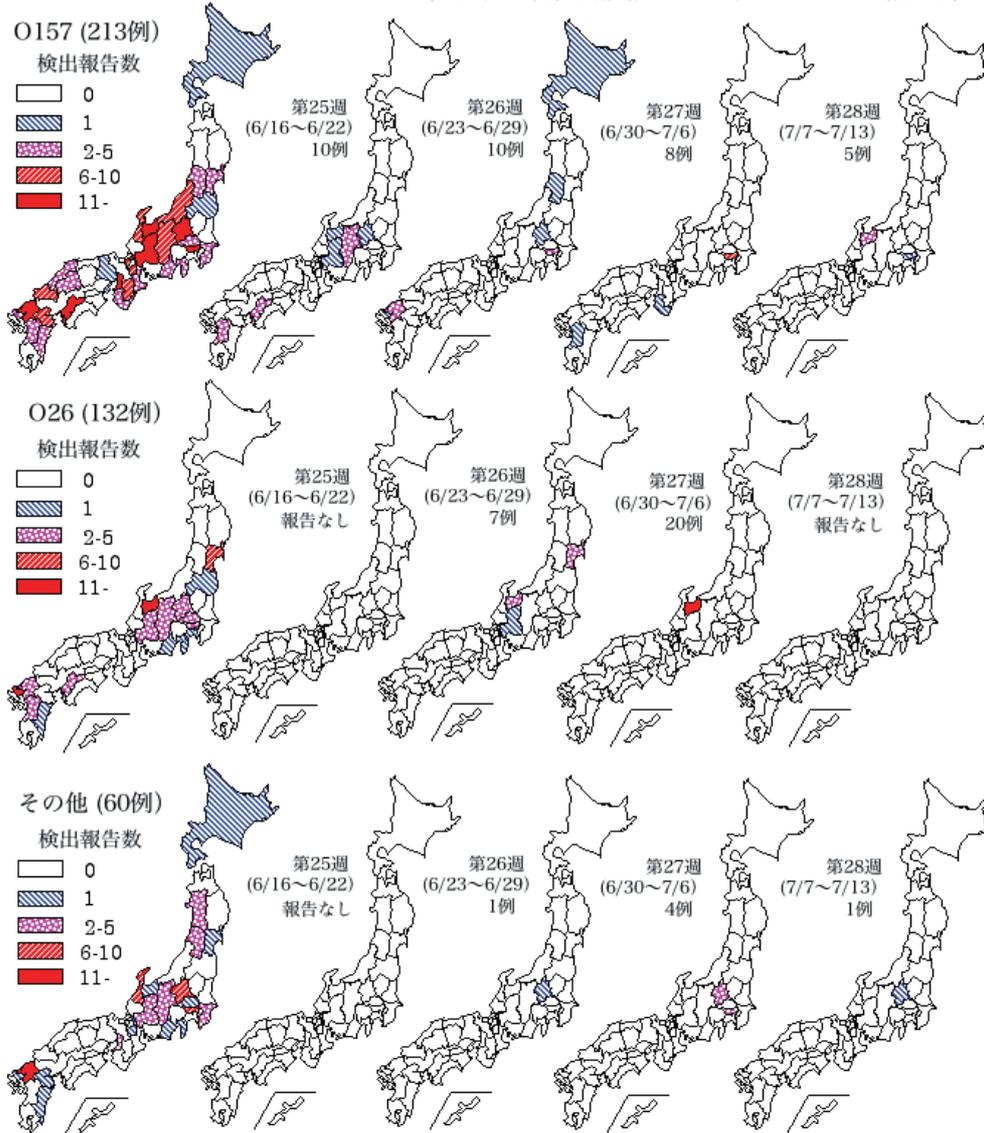


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2008年
(病原微生物検出情報：2008年7月17日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



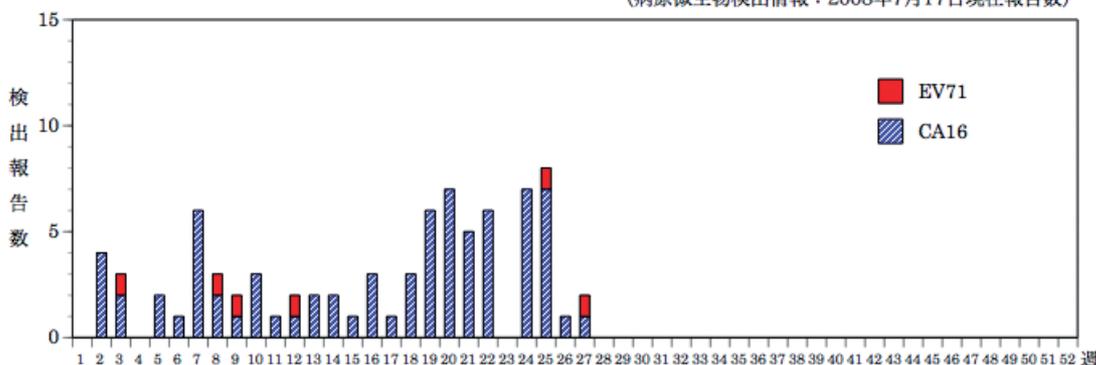
エンテロウイルス71型とA群コクサッキーウイルス16型 2008年

A群コクサッキーウイルス(CA)16型の検出が続いており、鳥取県19件、富山県14件、高知県、宮崎県各7件、愛知県6件など計75件が報告されている。CA16検出例の診断名は手足口病66件、ヘルパンギーナ5件、無菌性髄膜炎、上気道炎、咽頭結膜熱、発疹症各1件が報告されている。

一方、エンテロウイルス71型(EV71)は2007年に引き続き2008年も少数が検出されており、三重県、京都府、大阪府各2件、計6件が報告されている。EV71検出例の診断名は手足口病3件、無菌性髄膜炎1件、かぜ症候群2件が報告されている。

週別エンテロウイルス71型&コクサッキーA16型分離・検出報告数、2008年

(病原微生物検出情報：2008年7月17日現在報告数)



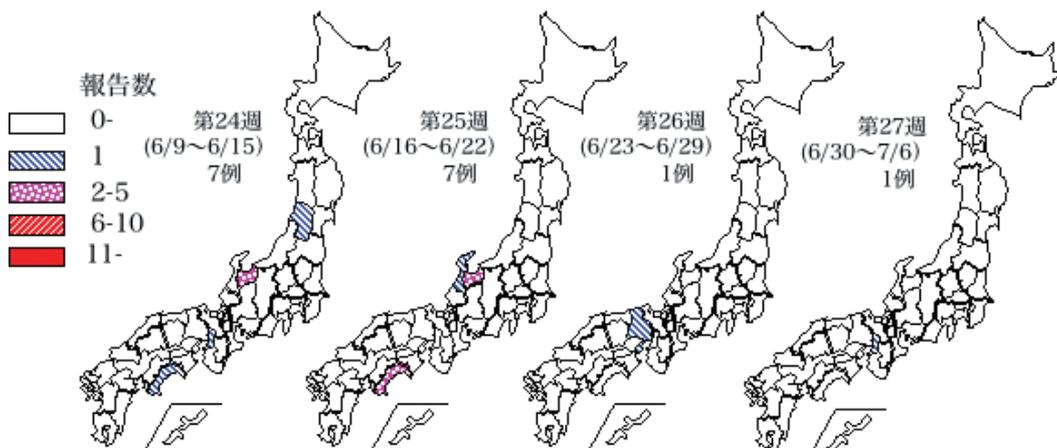
*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別都道府県別コクサッキーウイルスA16型分離・検出報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年7月17日現在報告数)

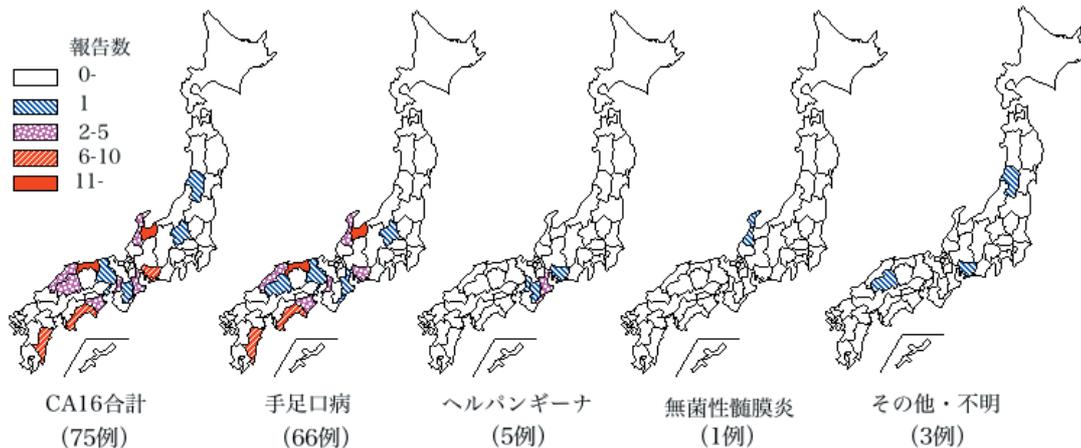


*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

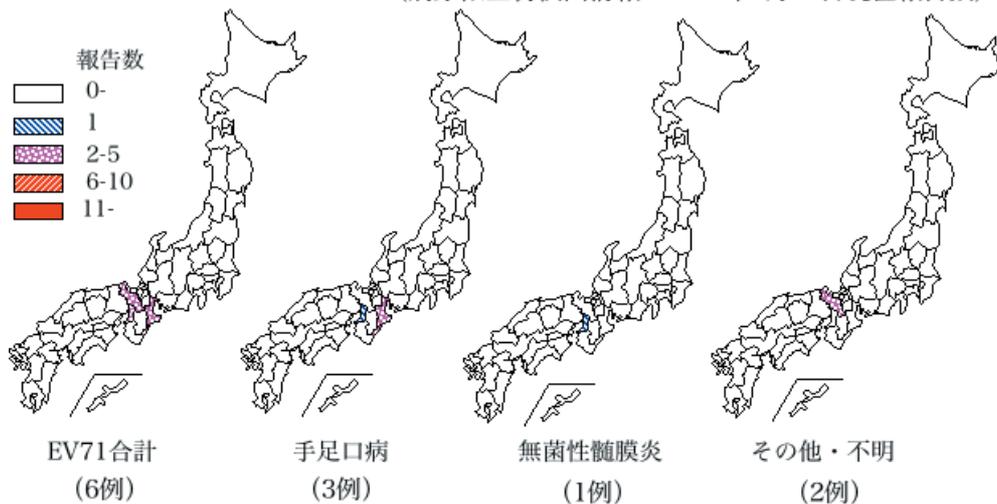
都道府県別診断名別コクサッキーウイルスA16型分離・検出報告状況、2008年
(病原微生物検出情報：2008年7月17日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



都道府県別診断名別エンテロウイルス71型分離・検出報告状況、2008年
(病原微生物検出情報：2008年7月17日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した





コレラ 2007年(2008年5月17日現在)

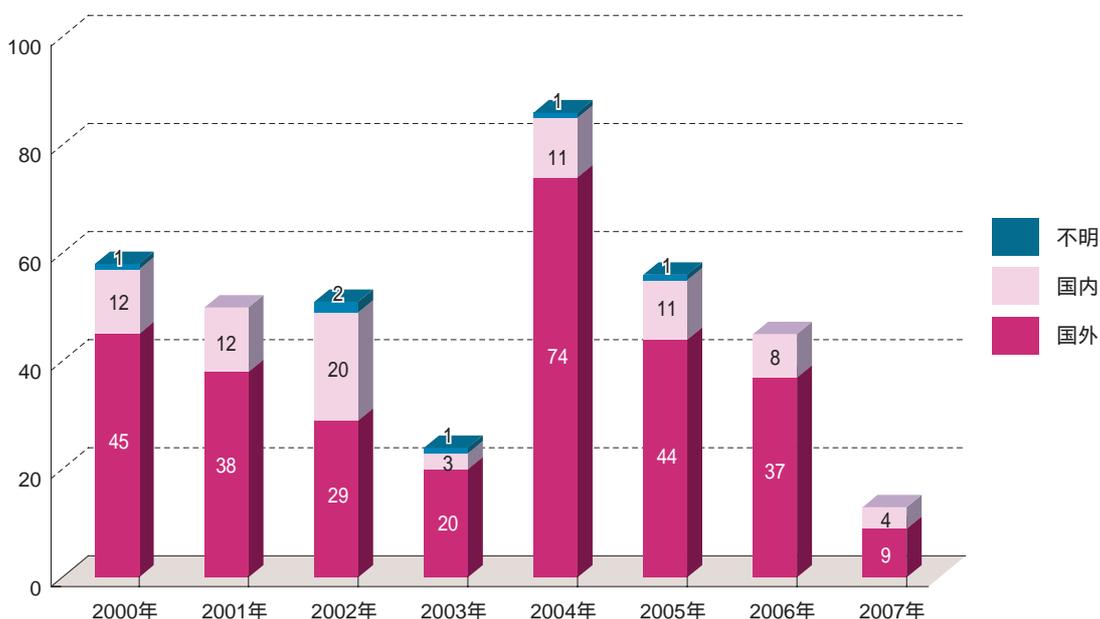
コレラは1～5日(通常1日以内)の潜伏期の後に、下痢や嘔吐で急激に発症する腸管感染症である。殆どの場合、腹痛や発熱はみられない。典型的な症状は激しい水様性下痢(重症例では米のとぎ汁様)と脱水であるが、近年の報告症例では軽症であることが多い。しかし、胃腸の弱い人(胃切除者など胃酸の働きが低下している人)や高齢者、乳幼児では重症化して死亡することもあり、軽視できない疾患である。

コレラは1999年4月施行の感染症法に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。2007年4月施行の法改正により、3類感染症に変更され、患者及び無症状病原体保有者が届出対象(疑似症患者は対象外)となった。また、WHOの報告基準では、コレラはコレラ毒素産生性の血清型O1およびO139コレラ菌によるものと定義されており、わが国でも同じ定義を用いている。

過去の年間報告数は1999年(4月～)39例、2000年58例、2001年50例、2002年51例、2003年24例、2004年86例、2005年56例、2006年45例であり、毎年平均すると50例前後の報告であったが、2007年は13例と著減した(図1)。

2007年の13例の報告では、疑似症が1例(1～3月の診断分)あり、無症状病原体保有者はなかった。疑似症を除く12例では、性別は男性7例、女性5例で、年齢中央値は60歳(30～71歳)であり、推定感染地域別では国内が4例、国外が8例であった。死亡の報告はなかった。但し、届出時点以降での死亡については十分反映されていない可能性があり、届出時点以降で患者が死亡した場合の追加・修正報告を自治体に依頼している。

図1. コレラの年別・感染地域別報告数(2000～2007年)
2000～2007年3月の疑似症を含む



12例について報告された症状をみると、下痢・軟便は全例にあり、米のとぎ汁様の下痢は2例であった。その他、脱水6例、嘔吐5例、体重減少2例、無尿2例、虚脱2例、筋痙攣1例が見られた。また、1例で胃切除歴があった。

診断のための検査は、届出基準に従い、全例が便からの菌分離と毒素の確認がなされていた。毒素確認方法は、毒素産生の確認6例、PCRによる毒素遺伝子の確認4例、両方による確認2例であった。

国内を推定感染地域とする4例は、性別では男性3例、女性1例であり、年齢群別では30代1例、50代1例、60代1例、70代1例で、年齢中央値は60.5歳(35～71歳)であった(図2)。感染した都道府県(推定又は確定として報告されたもの)は、青森県、福島県、栃木県、東京都が各1例で、報告の限りでは、疫学的関連性があると考えられる記載はなく、すべて散发例と考えられた。季節性については、従来国内での感染は7～9月に集中する傾向が認められていたが、最近は明らかなき季節性はなくなっていると考えられており、2007年の4例の発症月別も、1月、7月、8月、12月が各1例であった。コレラ菌の型は、すべてO1小川型であった(図3)。生物型は、エルトル型2例、不明2例であった。

図2. コレラの感染地域別・性別・年齢群別報告数(2007年) N=12*
* 疑似症1例を除く

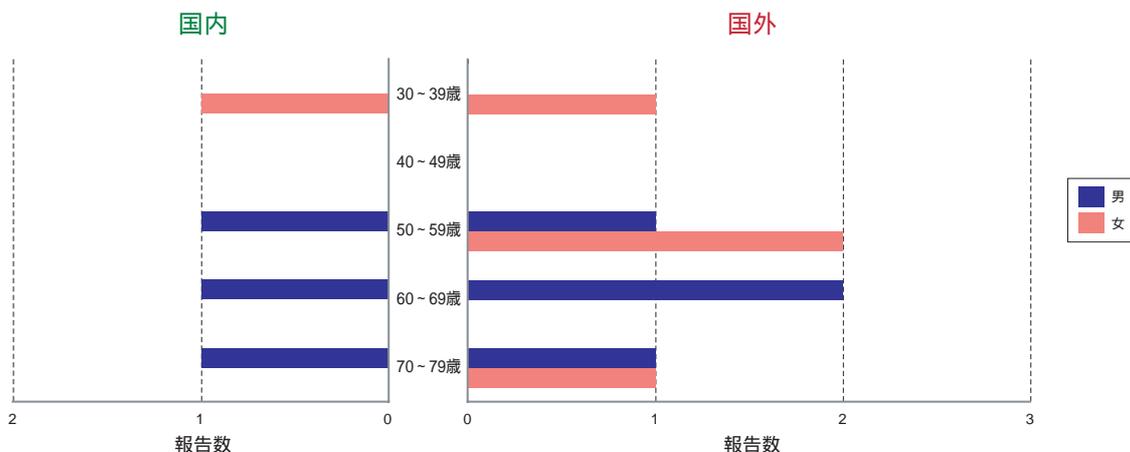
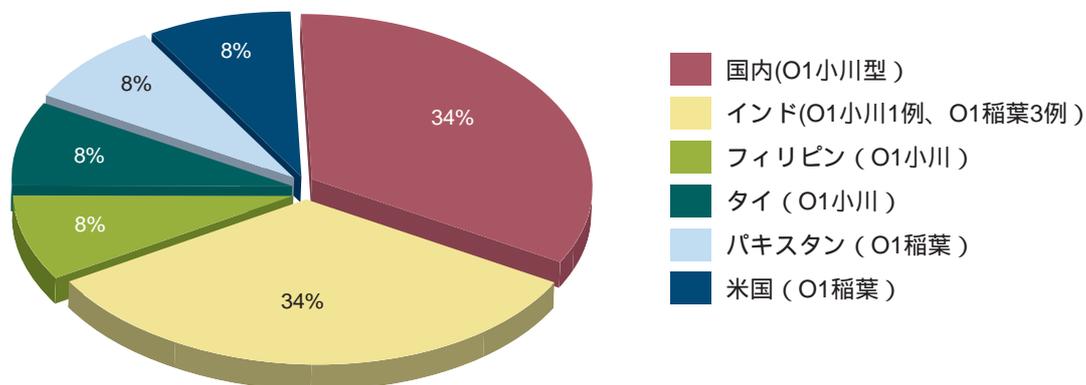


図3. コレラの感染国割合とコレラ菌の型(2007年) N=12*
* 疑似症1例を除く



国外を推定感染地域とする8例は、性別では男性4例、女性4例であり、年齢群別にみると、30代1例、50代3例、60代2例、70代2例で、年齢中央値は60歳(30～71歳)であった(図2)。推定感染国(および発症月)別はインド4例(4月2例、5月1例、6月1例)、フィリピン1例(5月)、タイ1例(10月)、パキスタン1例(5月)、米国1例(9月)であった。8例のコレラ菌の型は、O1小川型3例(感染国は、インド、タイ、フィリピン各1例)、稲葉型5例(インド3例、パキスタン1例、米国1例)であった(図3)。生物型は、エルトル型6例、不明2例であった。

報告数の増減は、流行の発生、流行地への渡航、集団感染の発生など様々な要因が関与すると考えられるが、検疫法改正によりコレラが検疫感染症でなくなった2007年6月以降は、原則的には検疫所で検便が実施されなくなったことも一要因として考慮する必要がある。前年の2006年4～12月に国外を感染地域として報告された31例中、検疫所からの報告は5例あったが、2007年において検疫所で診断されたものは1例(5月に診断)であり、2008年は第28週(～7月13日)までに24例(国内感染14例、国外感染10例)の報告があったが、国外感染の10例中検疫所からの報告はなかった(届出医療施設名が国まで報告されるようになったのは2006年4月以降)。

コレラは途上国において未だくりかえし発生がみられ、時に多くの命をうばっている疾患である。予防策として、わが国には従来からの不活化注射ワクチンがあるが、効果が低いことや副反応が多いことなどから、あまり勧められていない。海外ではより効果が高く、副反応の少ない経口ワクチン(不活化および生ワクチン)の種類が発売されており、コレラの高度流行地域へ出かける海外援助関係者などに、必要に応じて接種されることがある。渡航に際しては、各種感染症の流行情報を把握し、コレラ流行地域へ渡航する場合には、生水、氷、生の魚介類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが基本である。また、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

麻しん風しん第2期接種率向上の取り組み事例 - 4

平成19年度における麻しん風しん混合ワクチン(第2期)の定期予防接種の取り組みについて

高松市健康福祉部保健センター

平成19年度の高松市における麻しん風しん混合(MR混合)ワクチン予防接種第2期の接種対象者数は、4月1日現在の住民台帳等に搭載されている者で、予防接種の個人通知をした4,222人とし、接種者数は3月31日までに接種を済めた4,057人とした。その結果、最終の接種率は96.1%で、4半期別接種率は、第1四半期は46.6%、第2四半期は17.5%、第3四半期は14.2%、第4四半期は17.8%であった。標記の予防接種の接種期間は、予防接種の個人通知を5月1日に送付したことから、実質的な接種期間は、平成19年5月から平成20年3月までの11月間であった。

MR第2期予防接種についての取り組みは、その他の定期予防接種と基本的に変わりはないが、今回の法令の一部改正等に合わせて、新たに行ったことは、(1)教育委員会が就学時健診に徹底した接種勧奨を行ったこと(2)保育園・幼稚園に対し当該予防接種の勧奨をする旨の要請をしたこと(3)市・保健所感染症対策室が麻しんに関する情報をタイムリーに発したこと(4)6月頃以降の全国的なワクチンの逼迫した時期に厚生労働省と香川県とワクチン納入者と接種医師が連携して、ワクチンの安定供給体制がとれたことなどである。なお、接種場所は高松市内に限らず香川県内の予防接種協力医療機関で受ける体制としている。

関係機関の取り組みは、下記のとおりである。

1 保健センターの取り組み

(1) 予防接種の対象者等の把握

予防接種台帳として機能する予防接種管理システムを使用し、予防接種の対象者の把握、予防接種歴、小学校区別での各種統計などを行っている。また、保護者からの予防接種歴の確認や、就学前健診時の予防接種歴確認の問い合わせおよび未接種者の把握に対応した。

(2) 予防接種の接種対象者への通知方法

通知時期は住民異動等が落ち着いた5月1日とし、接種対象者(平成20年度新1年生)全員へ予防接種票とお知らせを個別に郵送した。

(3) 予防接種に係る情報の提供

年度当初の広報誌「広報たかまつ4月1日号」に定期予防接種について特集を組むとともに、保健センターの機関紙にも掲載した。また、センターの窓口及び電話相談を充実するとともに、保健センター内にポスターを掲示した。

(4) 予防接種実施要領・実施計画の作成

地区医師会との協議結果を踏まえ「高松市における平成19年度定期予防接種実施要領・同実施計画」を作成し、予防接種実施医療機関に送付した。

2 市保健所感染症対策室の取り組み

麻しんに関する情報提供として、麻しん感染症情報などを保健センター保健師等に日常的に送信するとともに、「広報たかまつ」や高松市ホームページやケーブルTVに関連情報を提供、および市民向けに特集号のチラシ作成などを行った。

3 地区医師会の取り組み

2月中旬に「平成19年度定期予防接種検討委員会」を開催し、麻しん風しん混合予防接種の実施に向けての疑問点や実地での問題点、実施要領等を協議した。また、予防接種医師に対し特別講習会を開催し、麻しん風しん混合予防接種に関する情報の提供や、実施方法および注意点等を周知した。

4 教育委員会学校教育課の取り組み

(1) 幼稚園等の園児に対する指導

幼稚園の園長等に、予防接種歴の確認を行い、予防接種を受けていない者には予防接種を受けるよう指導して頂くよう要請した。

(2) 夏休み中の研修会

教諭・養護教諭・保健指導教諭などに実施している夏休み中の研修に際して、麻しんの予防接種の必要性を伝え、接種歴の確認を行い、予防接種を受けていない者には受けるよう積極的な勧奨をするよう要請した。(効果をより確実にするため、学校長、教頭も対象者とした。)

(3) 就学時健診で勧奨

10月からの就学時健診時に未接種者に対するお知らせ「麻しん風しんワクチンを接種しましたか。」を保護者に渡し、ワクチン接種をした場合は、接種年月日を記入し、各小学校の就学前の学校説明会時に提出するよう求めた。

(4) 学校説明会時の勧奨

3月初旬の各小学校の学校説明会で最終の聞き取りを行い、未だに接種していない者の保護者に対し、再度、接種するよう入学以降に麻しん風しんのワクチン接種を受けるよう求める場合があること。その際の予防接種は任意接種となり、1万円相当の経費が必要となること。」を記載した文書を個人通知した。

5 MR混合ワクチンの確保

6月から麻しん風しん混合ワクチンの必要量の確保が難しくなった時期があったが、厚生労働省による関係機関への要請、香川県による必要量の調整、ワクチン卸売業者および予防接種医師の協力を得て難局を乗り越えた。具体的には、香川県はメーカーに対し安定的な供給を要請し、市は医療機関間の割り当てを調整し、接種医師は定期予防接種の優先とワクチンの必要以上の抱え込みを行わないことを申し合わせ、ワクチンの融通を行い、卸売業者は市が示した必要とする数量に従いワクチン流通に努めた。

おわりに

平成19年度におけるMR混合第2期の予防接種率が高かったことは、関係機関の連携による取り組み(特に、教育委員会の熱心な取り組み)が功を奏した結果である。予防接種は、正確な接種対象者の把握からはじまり、未接種者または罹患歴がない者の把握、予防接種に関する正確な知識がないことで予防接種を受けさせない保護者もいることから、市民への正確な情報の提供を行い保護者の理解を得て推進すべきである。

今後も高松市は、地区医師会等の協力を得て、より効果的な情報の提供や予防接種啓発を進めるとともに、今までに培った県薬務感染症対策課、保健所感染症対策室等の関係機関(教育委員会保健対策課、小学校長会、養護教諭、保育課及び保育士等)との密な連携を生かして、速やかに情報を共有し、予防接種率向上に積極的に取り組み高松市の子どもたちの健康に寄与していくつもりである。

寿司および会席料理が原因と推定される毒素原性大腸菌 O27:H7の集団食中毒事例 - 千葉市

2008年4月、千葉市内の飲食店から提供された食事(寿司、会席料理)を原因とする毒素原性大腸菌(以下ETEC)O27:H7による集団食中毒が発生したので、その概要を報告する。

2008年4月7日午前9時30分、千葉市内の病院医師から、4月3日に市内の飲食店から寿司の出前を取り寄せ、喫食した病院の職員32名のうち25名が翌4日から腹痛、下痢、吐き気などの食中毒症状を呈している旨、保健所に届出があった。調査したところ、4月3日に当該飲食店で喫食した他の2グループ数名も同様の食中毒症状を呈していることが判明した。調査の結果、有症者の共通食が、3日夕方6時～12時に供された食事に限られていることから本施設を原因とする食中毒と断定された。

細菌学的検査を、施設内の器具・設備のふきとり6検体、病院職員患者糞便15検体、他グループ患者糞便2検体および調理従事者便2検体について行った。その結果、患者糞便17検体からST毒素産生のETEC O27:H7が検出された。本食中毒の発生以前に体調異常を訴える調理従事者は認められなかった。

糞便のETECの検査は、DHL培地からcolony sweep - PCR法によりSTおよびLT遺伝子の検索を行い、毒素遺伝子が確認されたものは、引き続き単独コロニーについて検索し、ST毒素産生性およびO27:H7の確認を行った。

検出したST毒素産生性ETEC 17株のパルスフィールド・ゲル電気泳動(以下PFGE)および薬剤感受性試験を実施した。制限酵素XbaIによるPFGEパターンはすべて同一であった。薬剤感受性試験は、すべての株が8薬剤(FOM、GM、TC、NFLX、NA、KM、CTX、CP)に感受性を示し、TMP、ST合剤には耐性を示し、2株においてはABPCおよびSMに耐性を示した。

なお、当該食品および原材料については保存されておらず、検査に供することができなかったため、感染経路については特定できなかった。

千葉市環境保健研究所 鶴田美好 木村智子 岩撫晴子 須賀好弘
千葉市保健所食品安全課

(IASR 2008年8月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

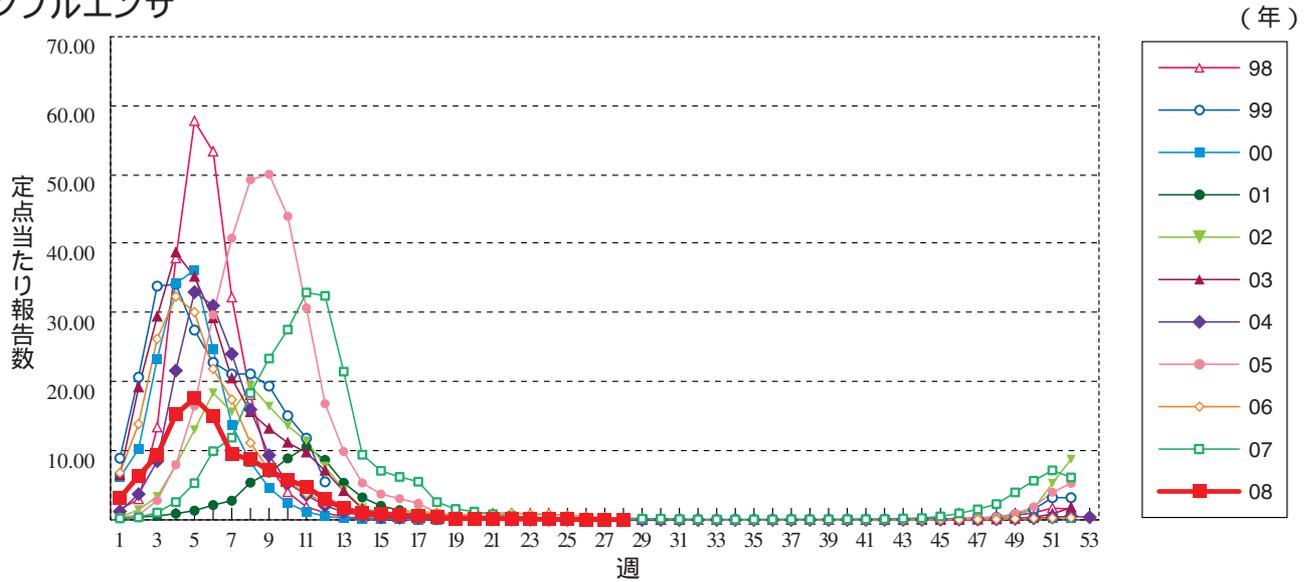


感染症の話

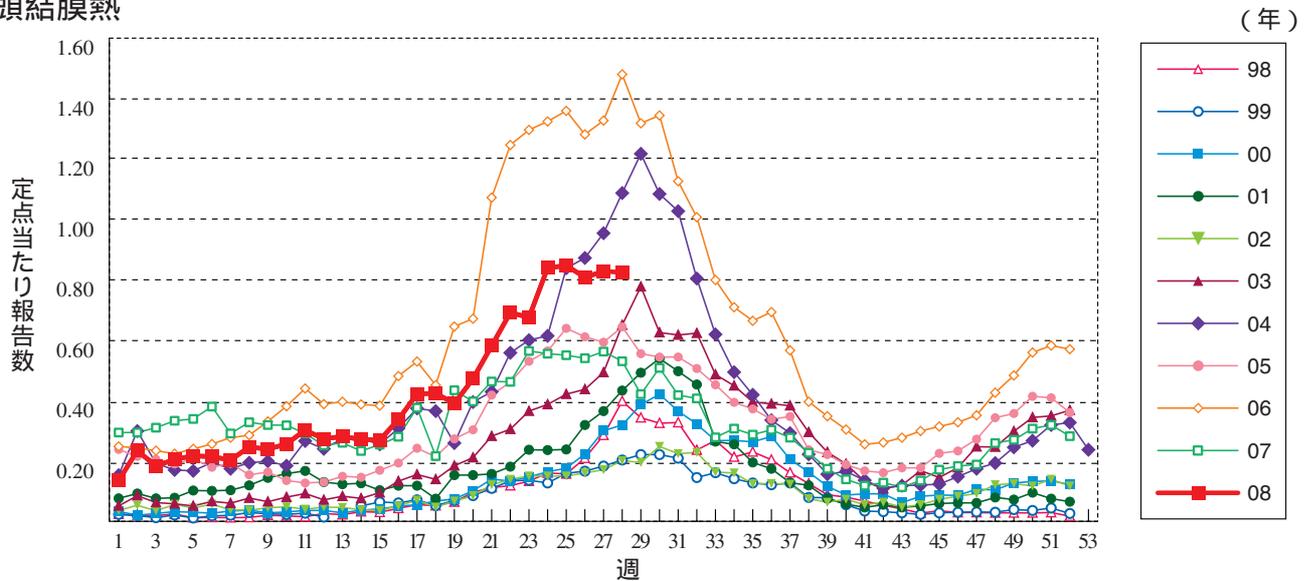
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(28週)

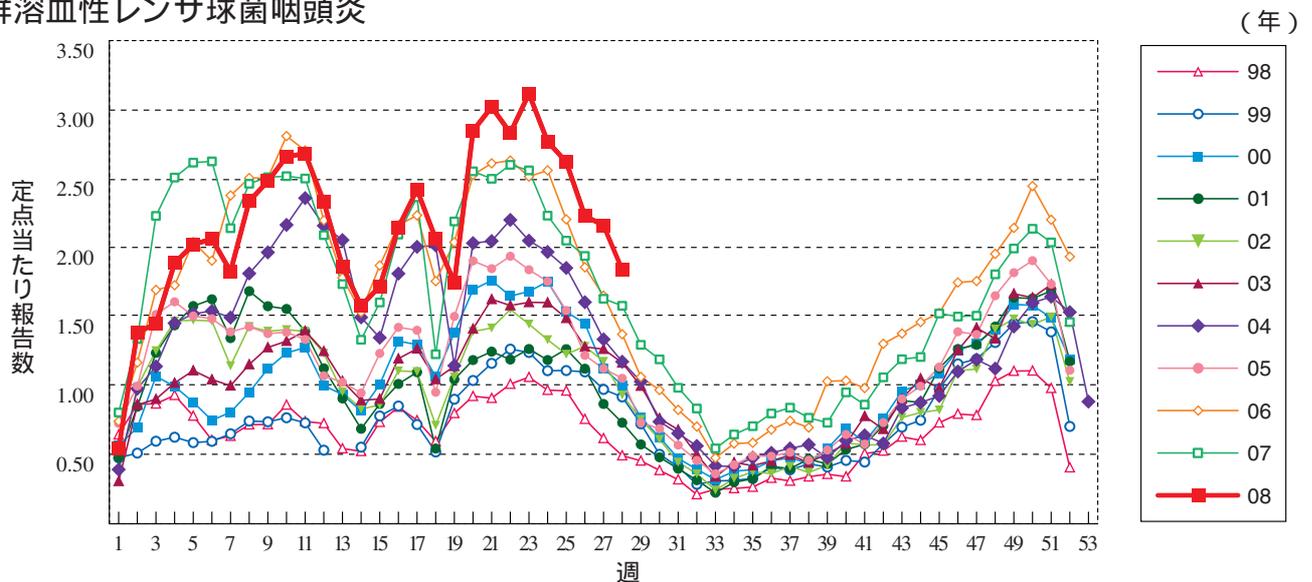
インフルエンザ



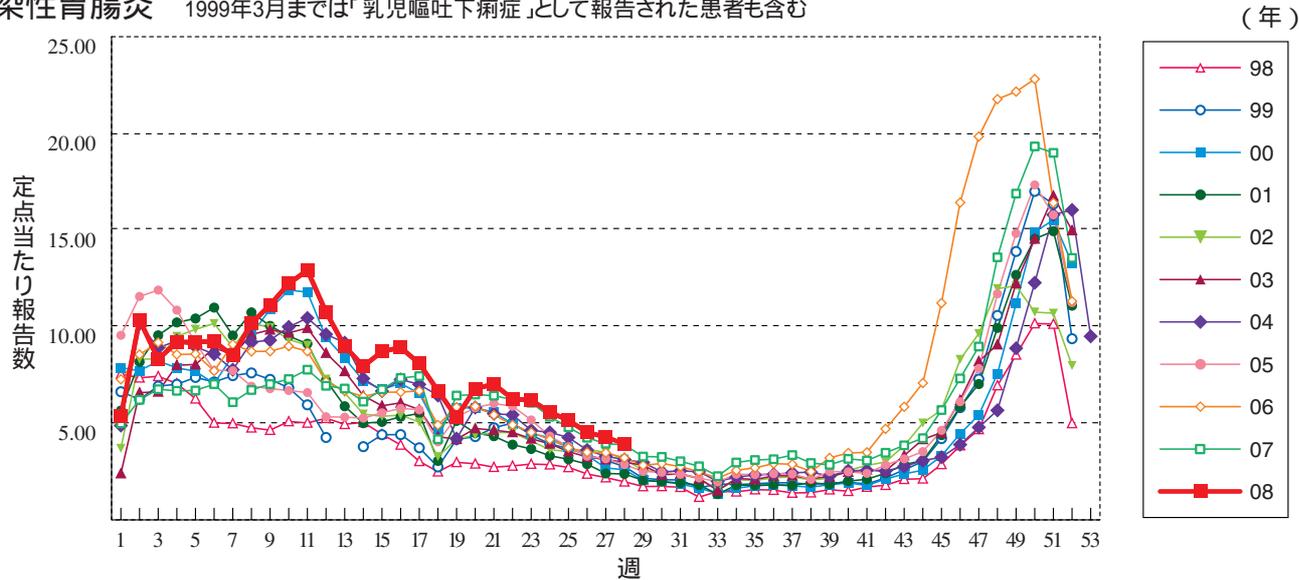
咽頭結膜熱



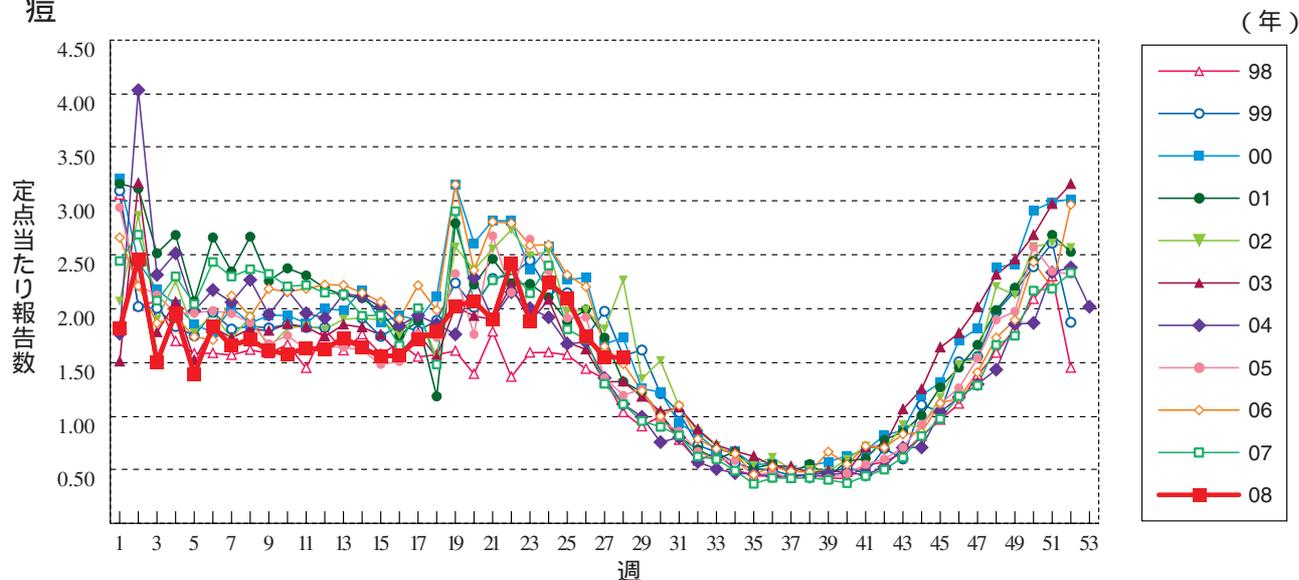
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



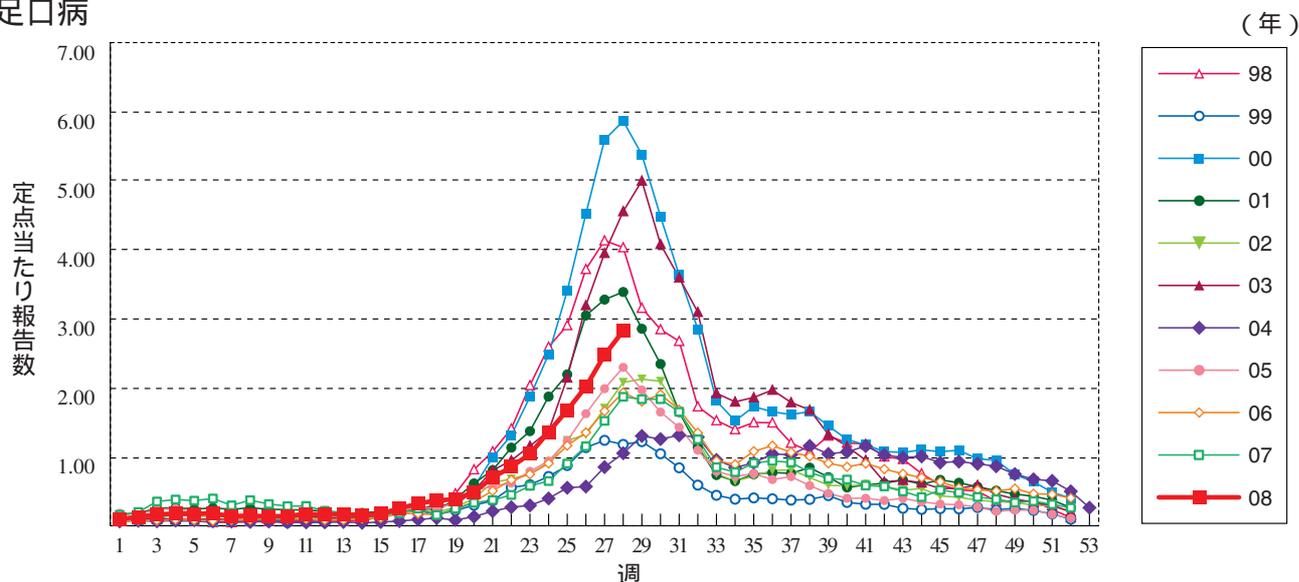
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



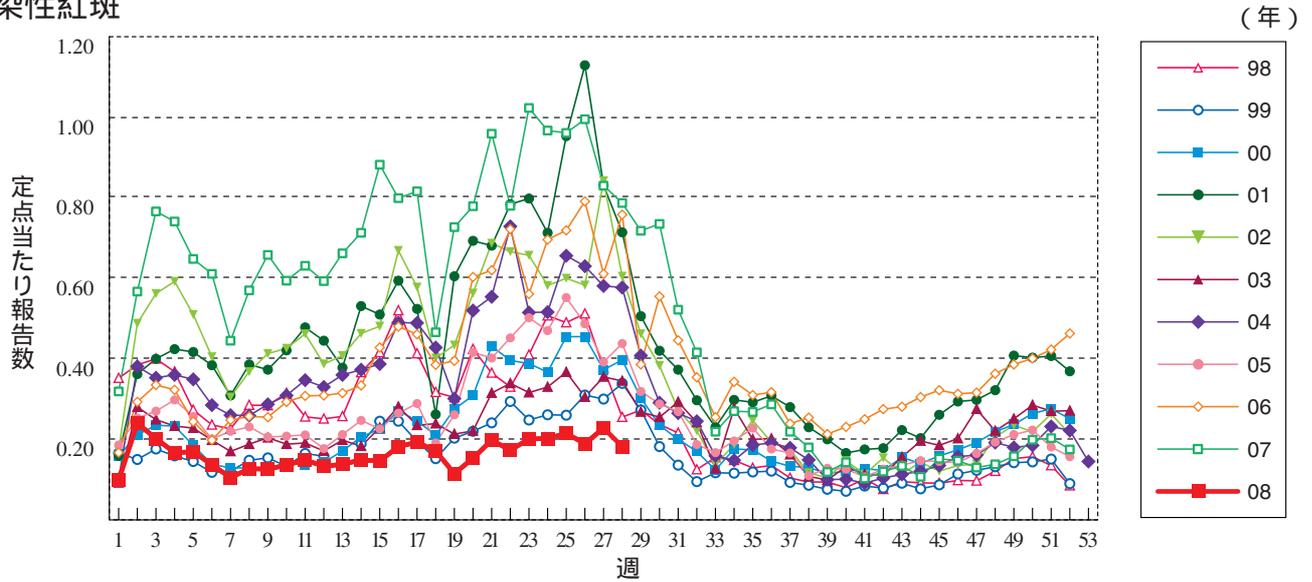
水痘



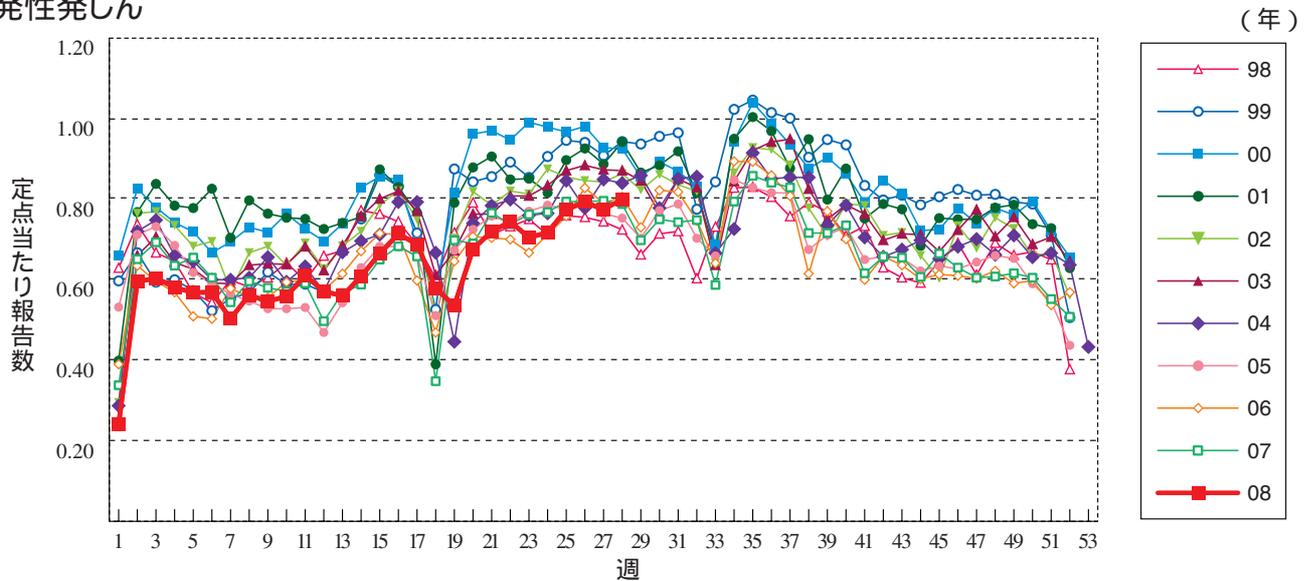
手足口病



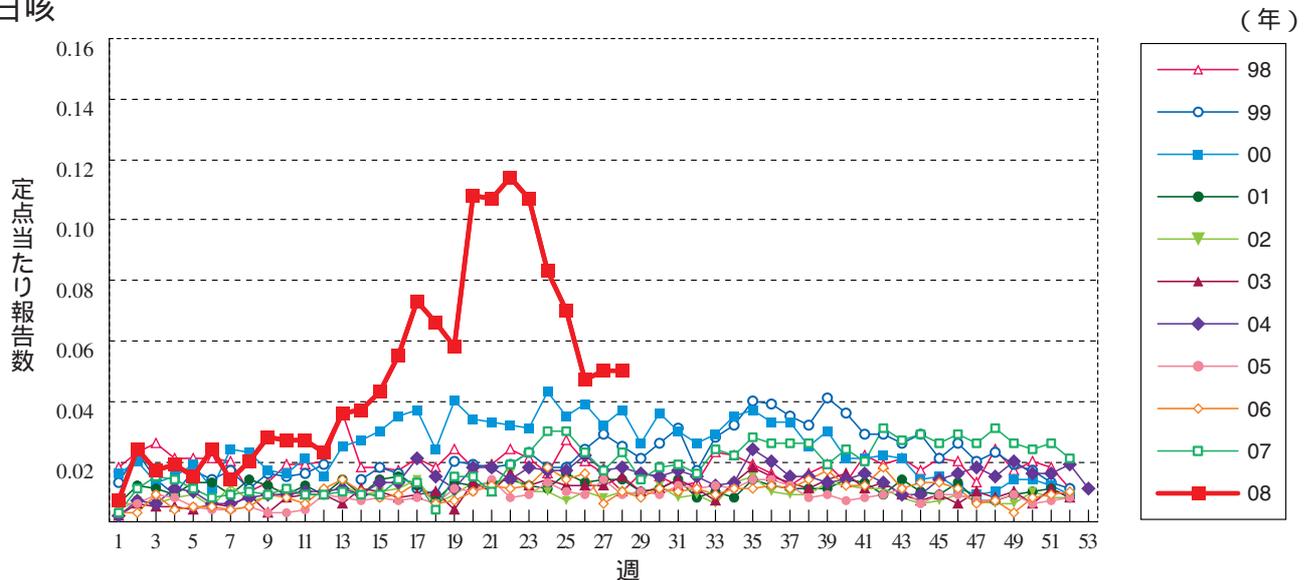
伝染性紅斑



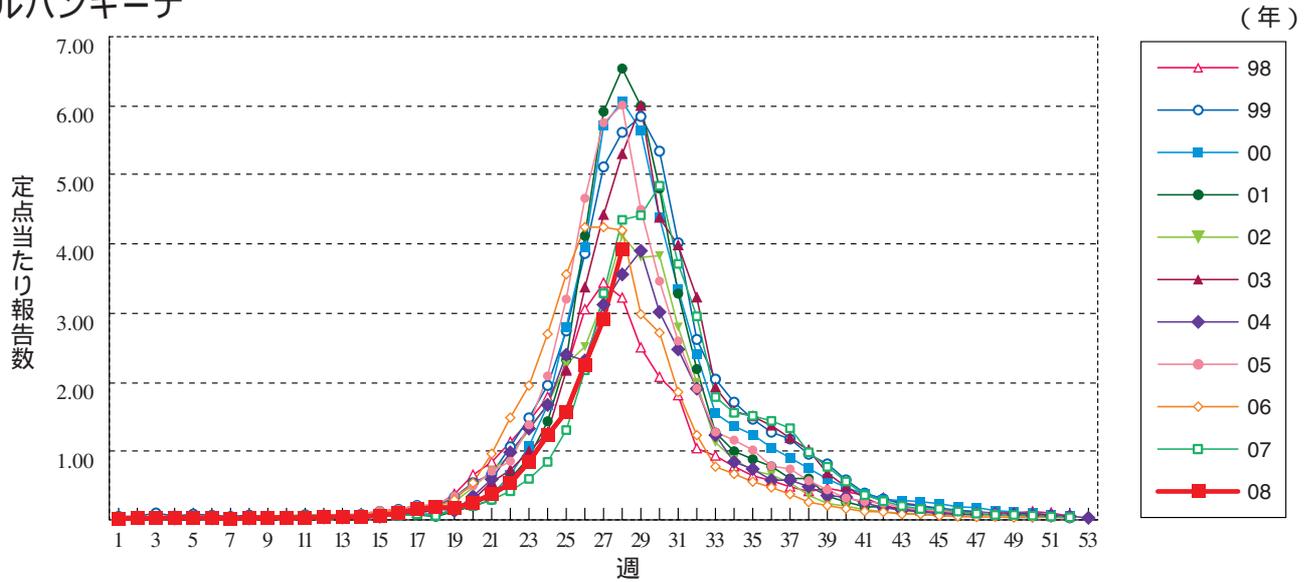
突発性発しん



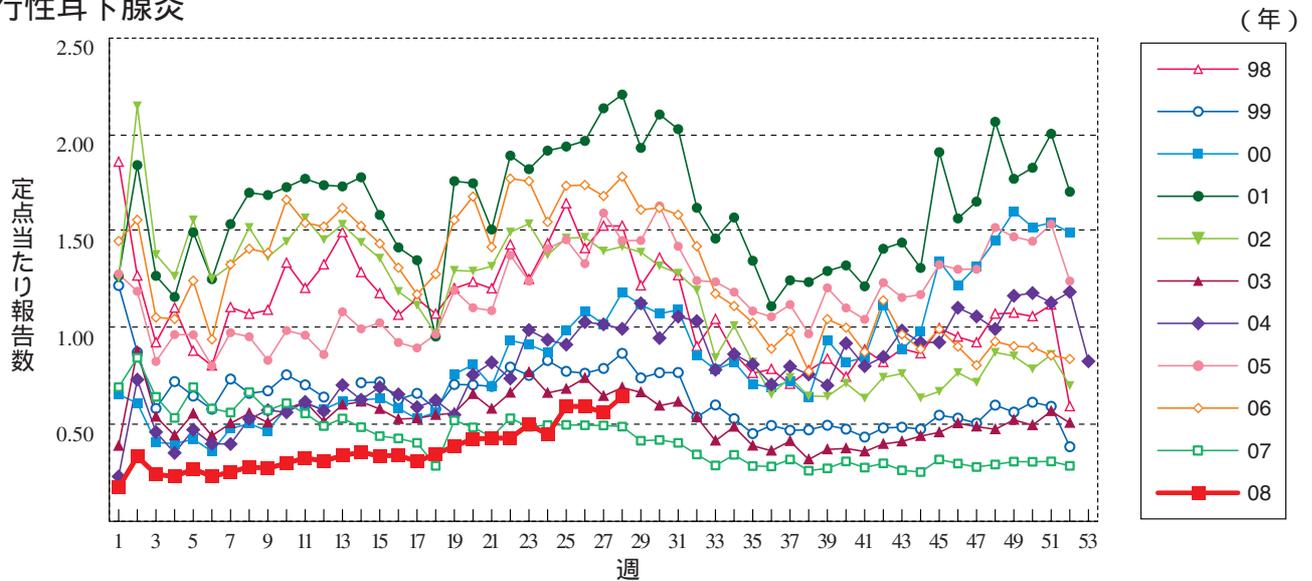
百日咳



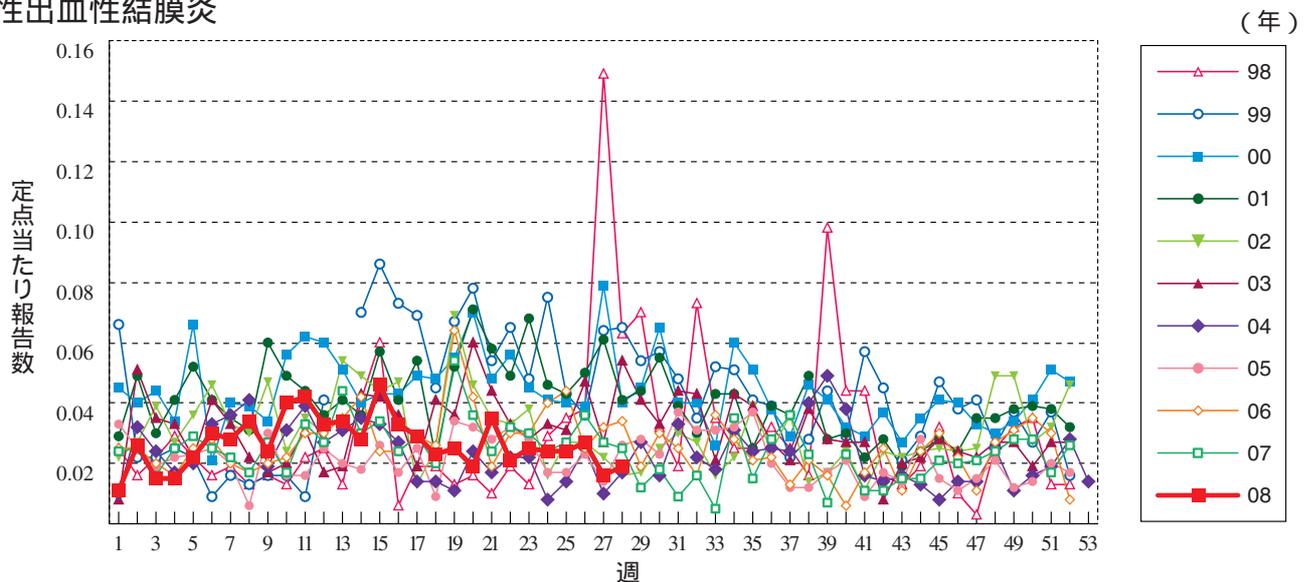
ヘルパンギーナ



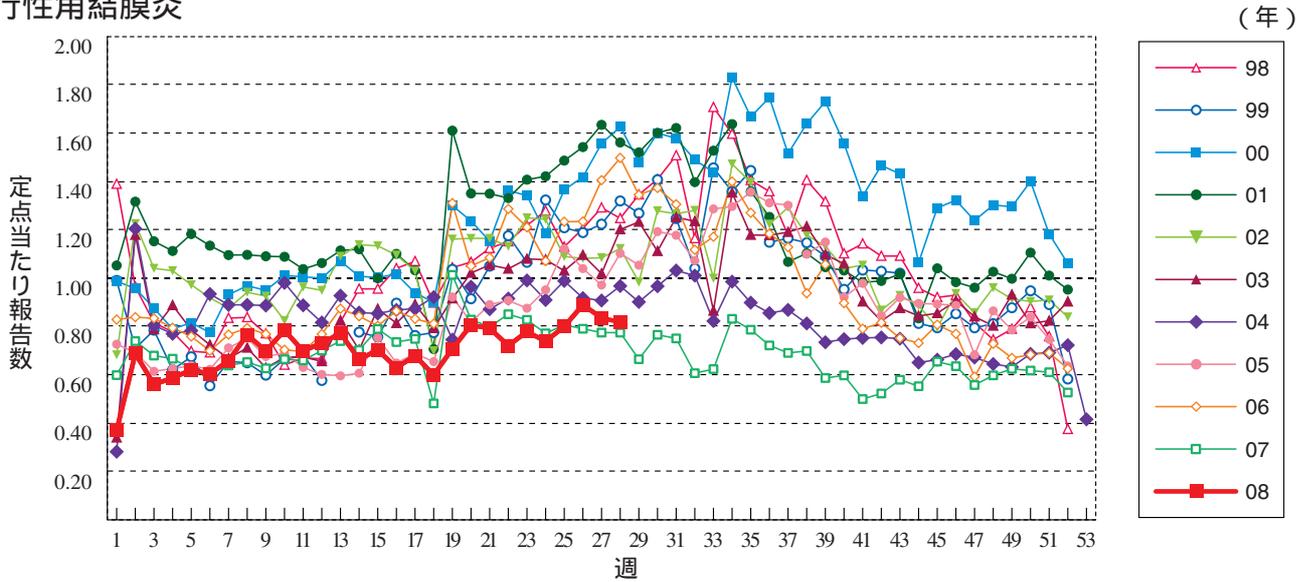
流行性耳下腺炎



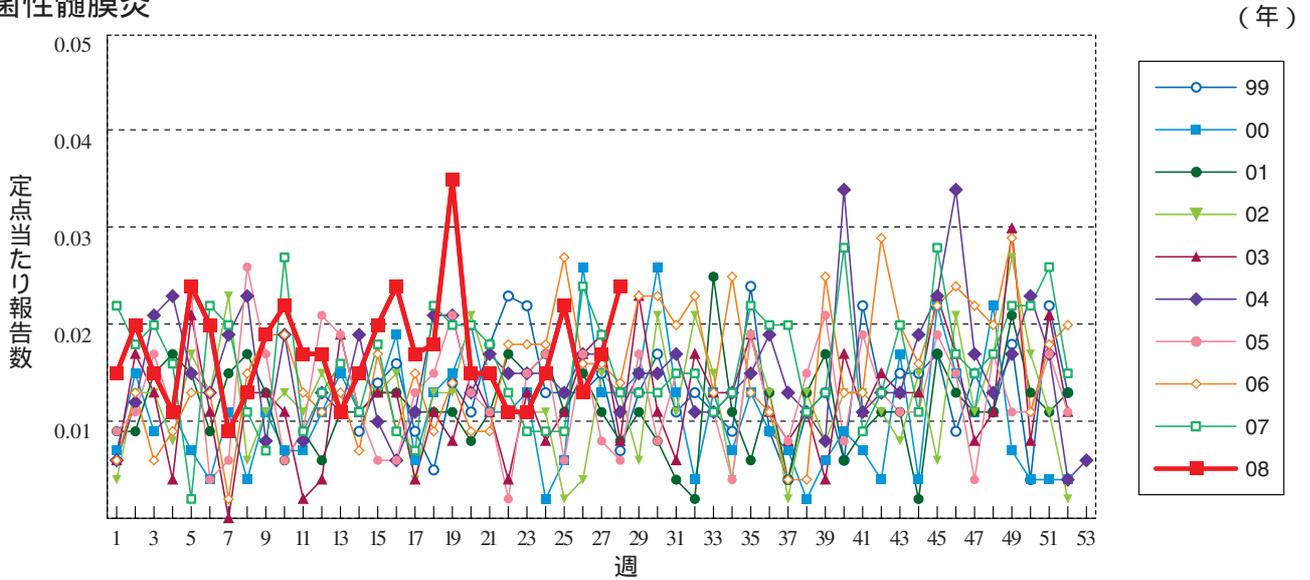
急性出血性結膜炎



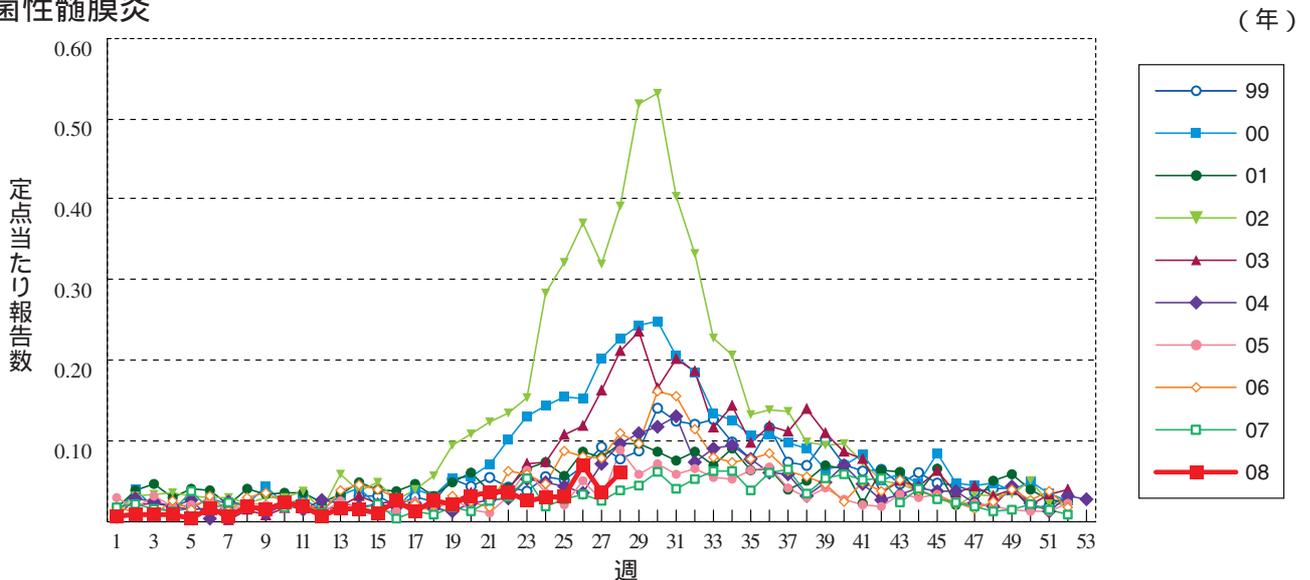
流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎

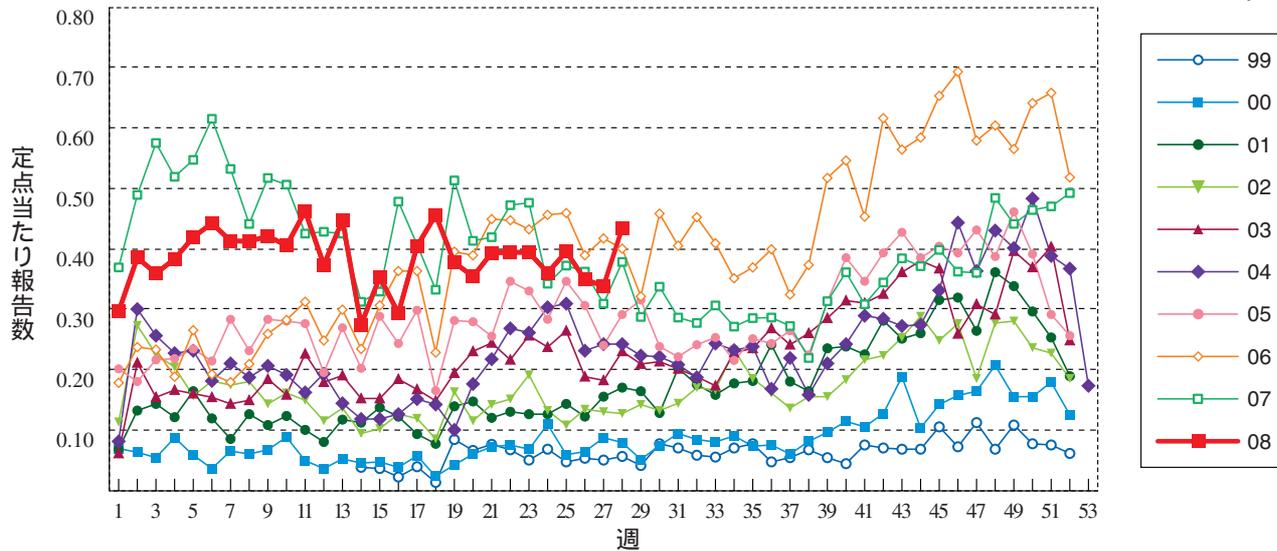


無菌性髄膜炎



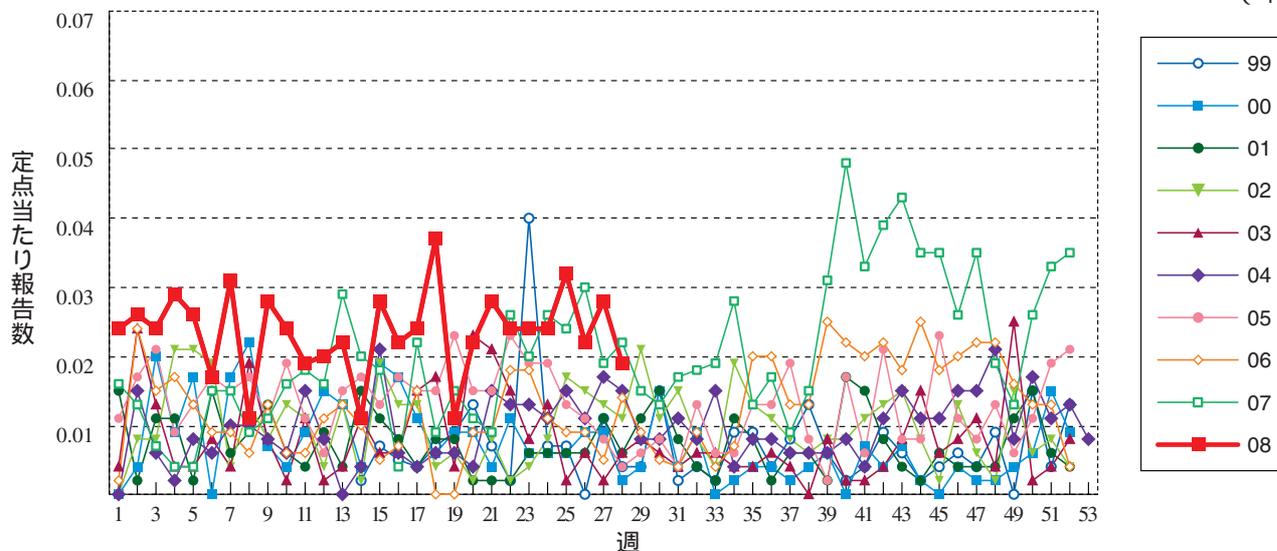
マイコプラズマ肺炎

(年)



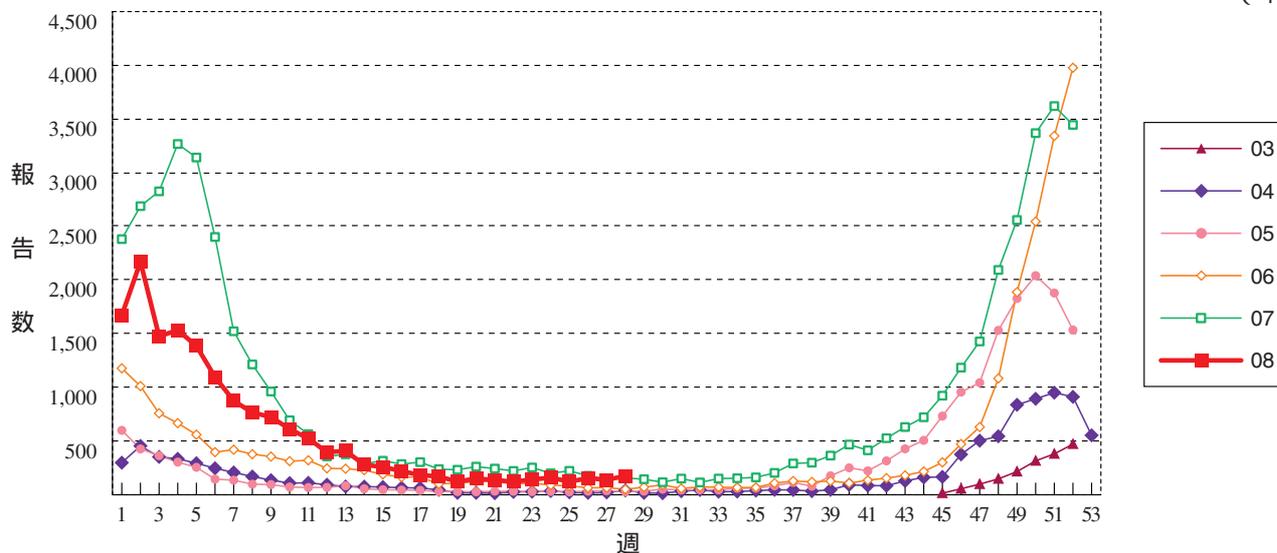
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)

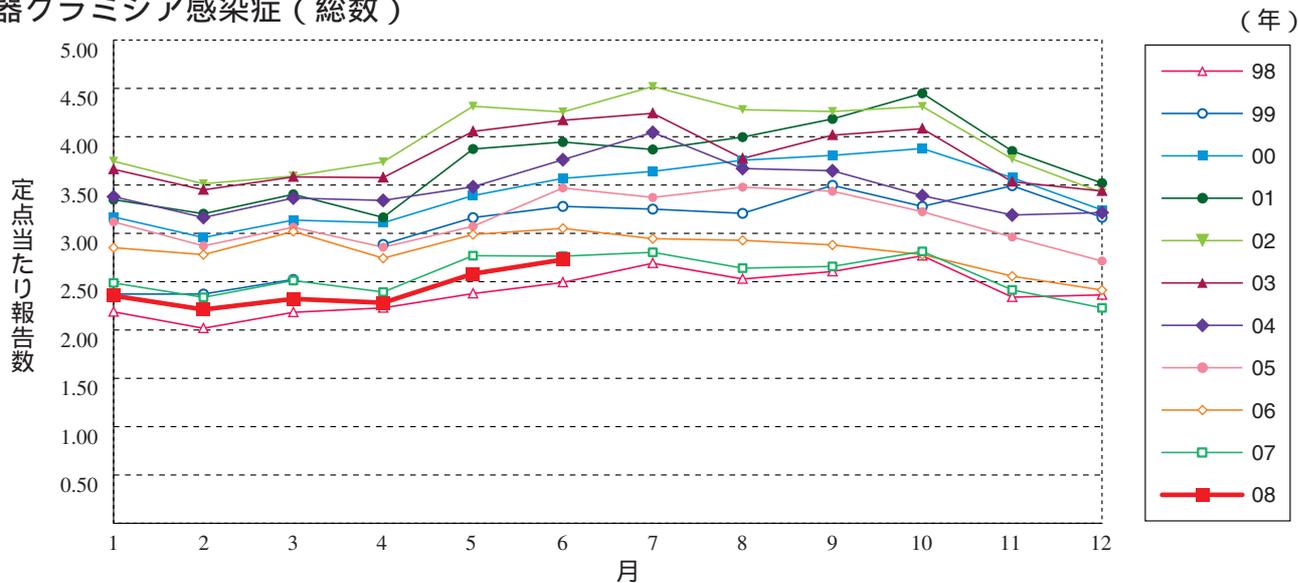




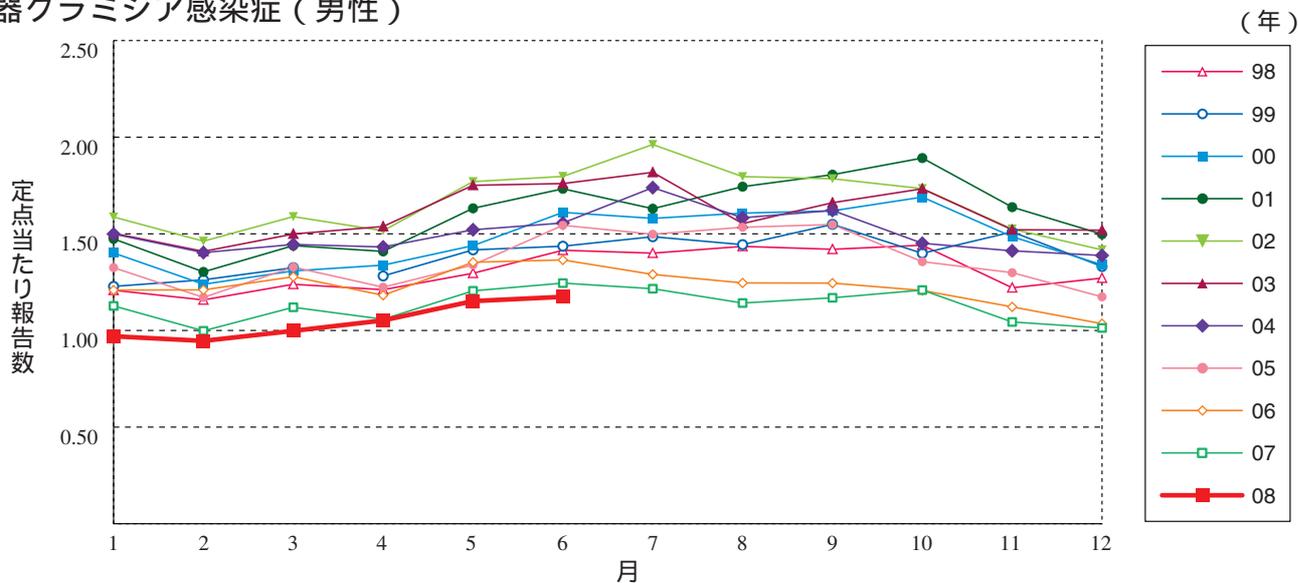
グラフ総覧(6月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

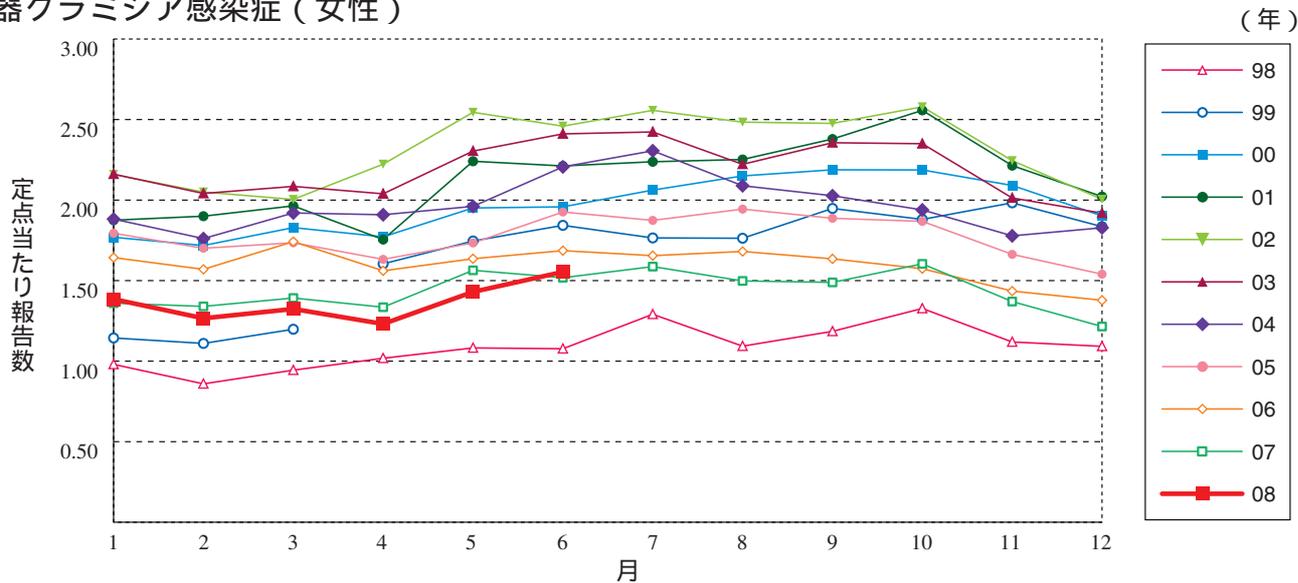
性器クラミジア感染症(総数)



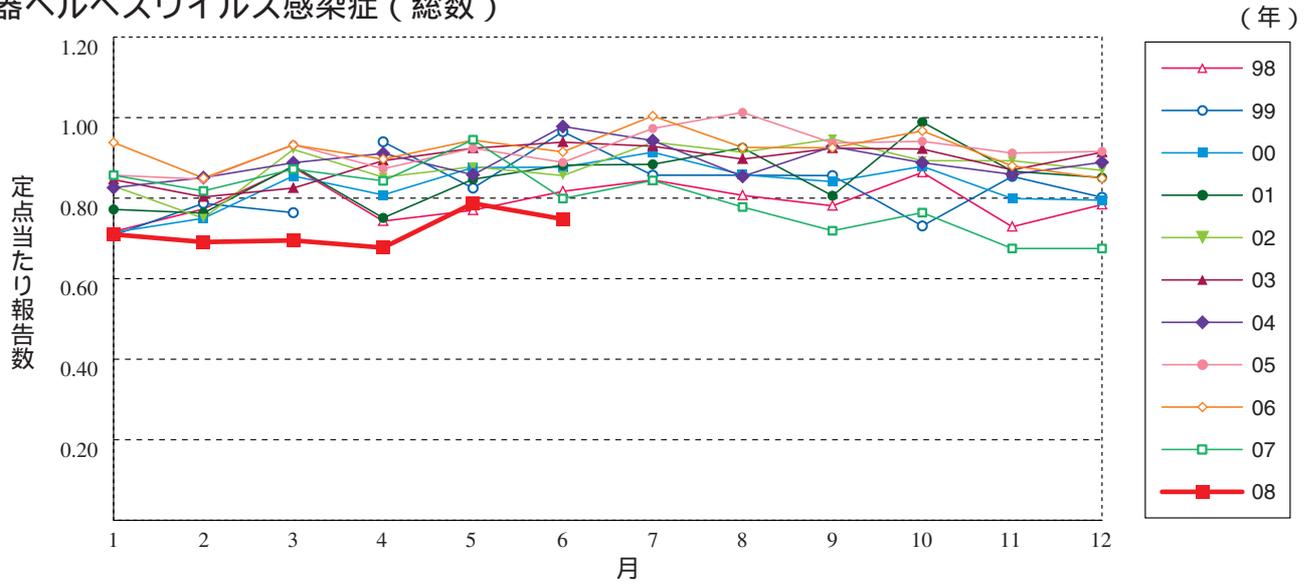
性器クラミジア感染症(男性)



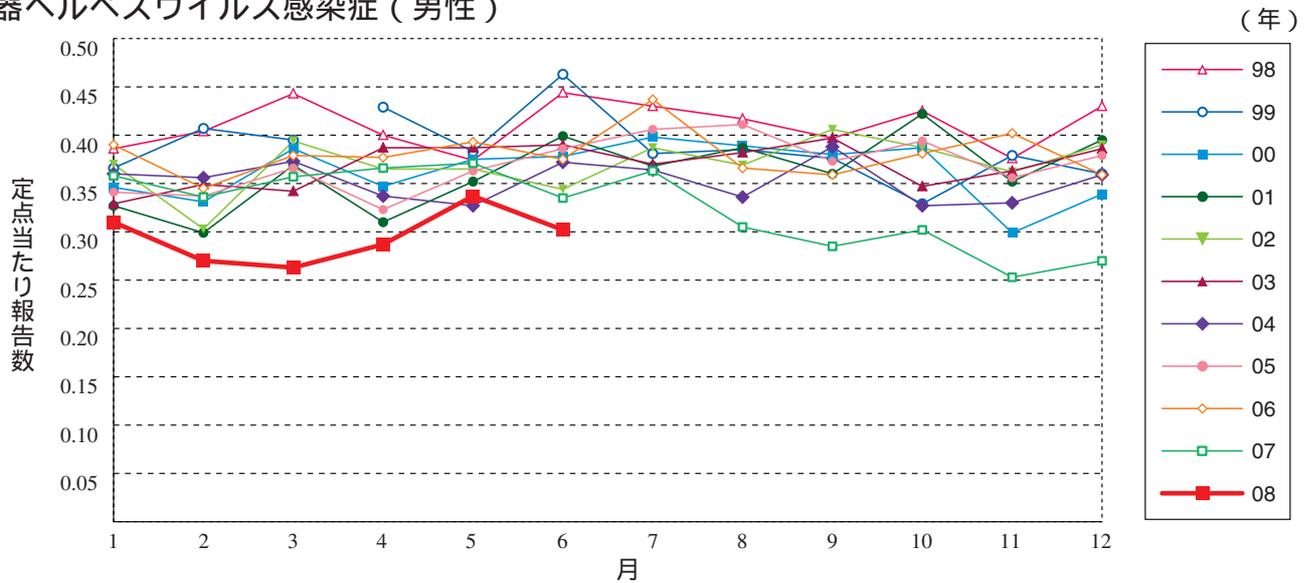
性器クラミジア感染症(女性)



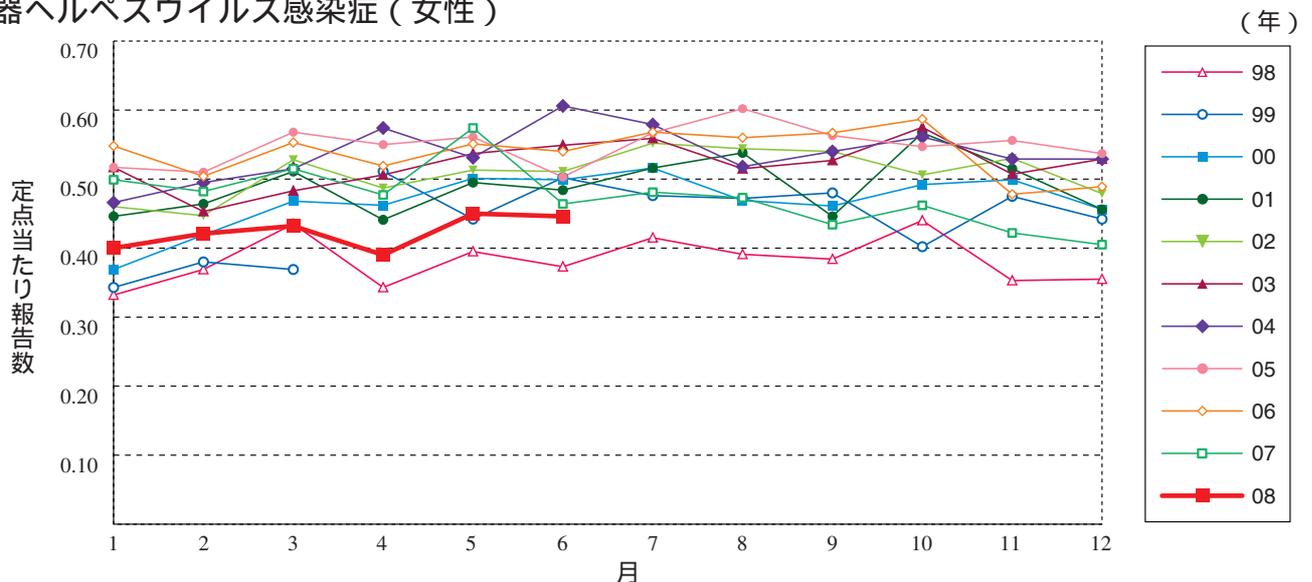
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



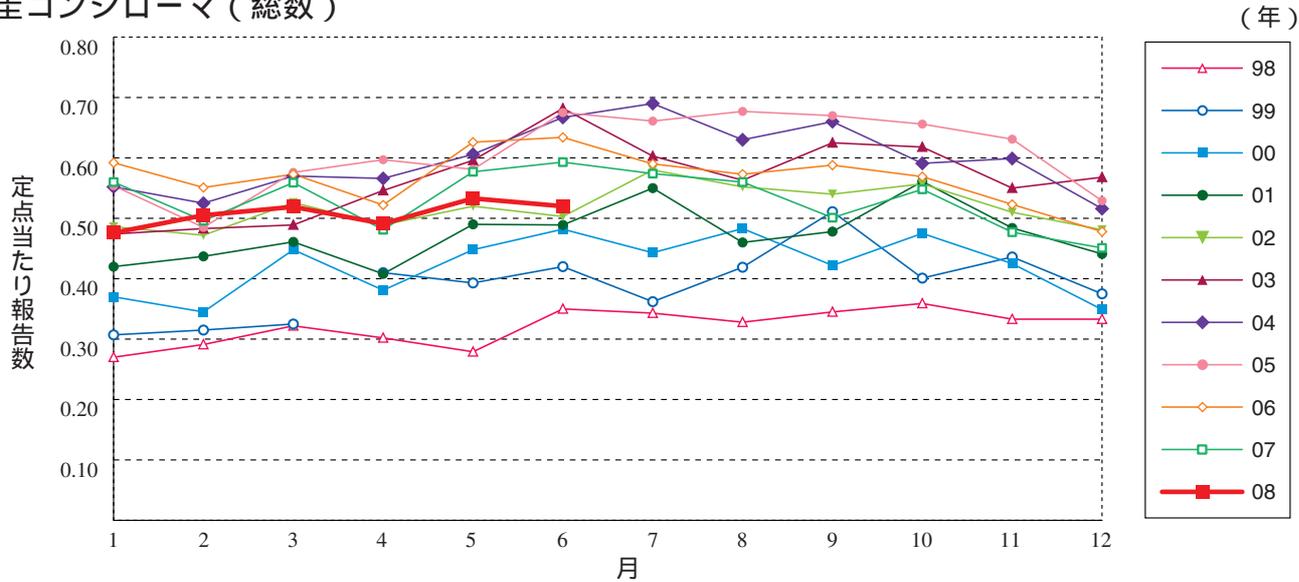
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



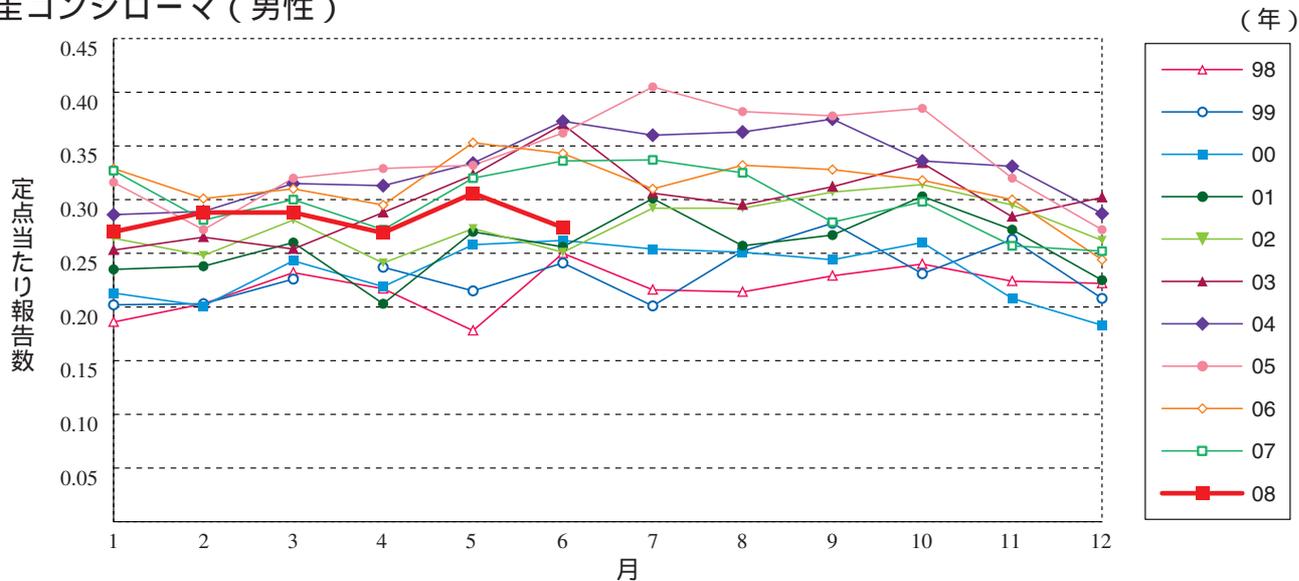
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



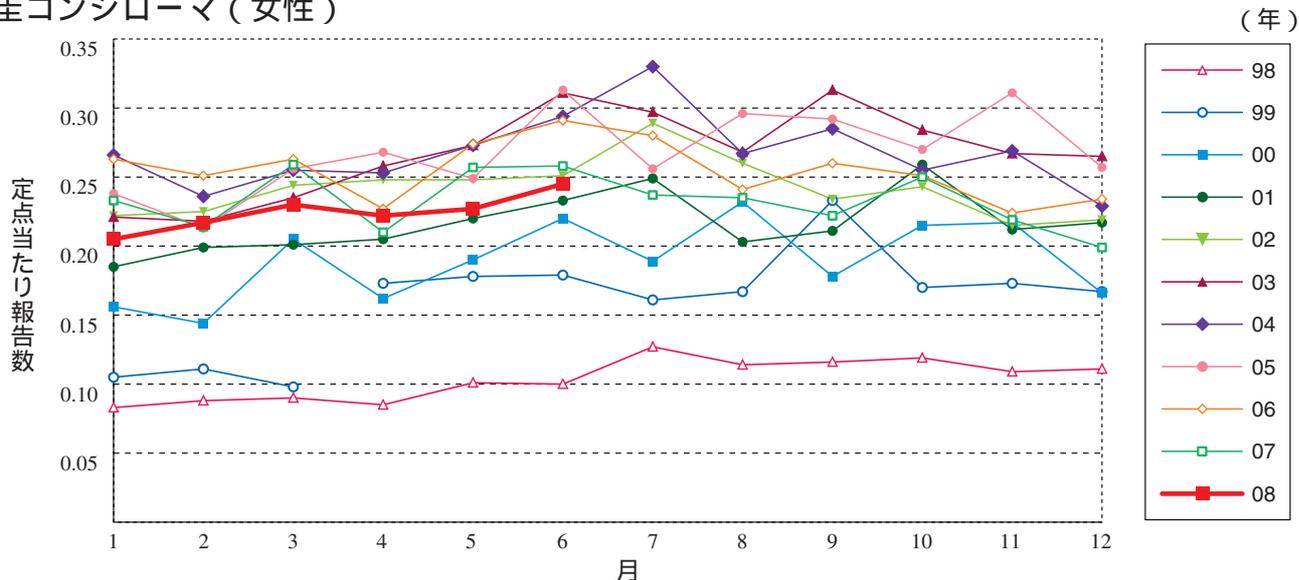
尖圭コンジローマ (総数)



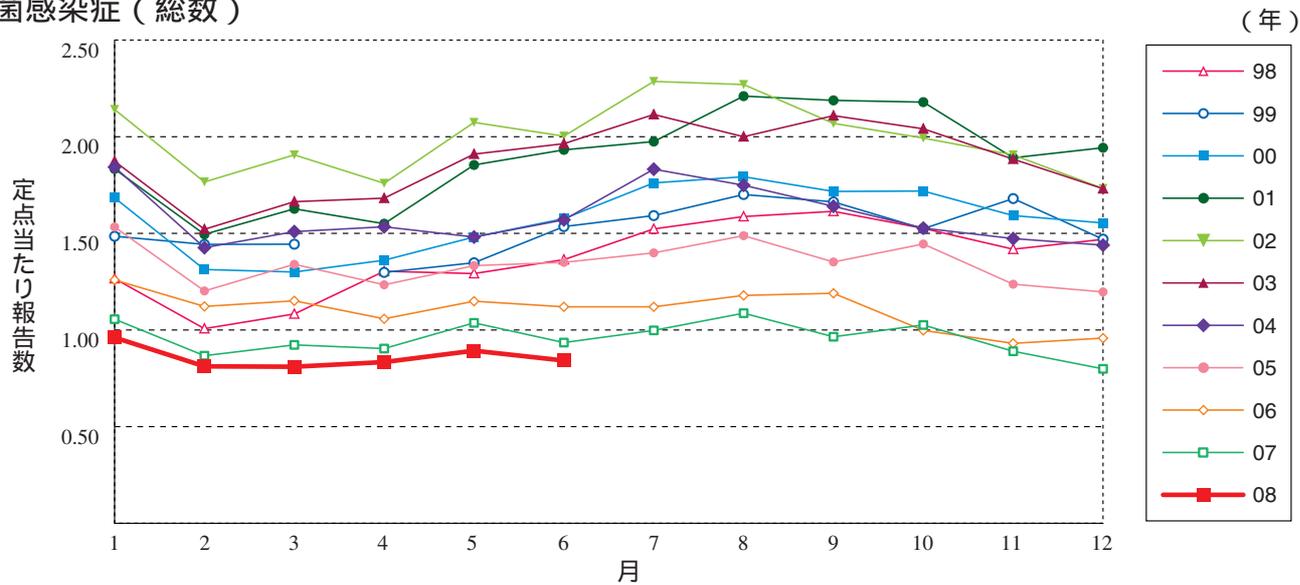
尖圭コンジローマ (男性)



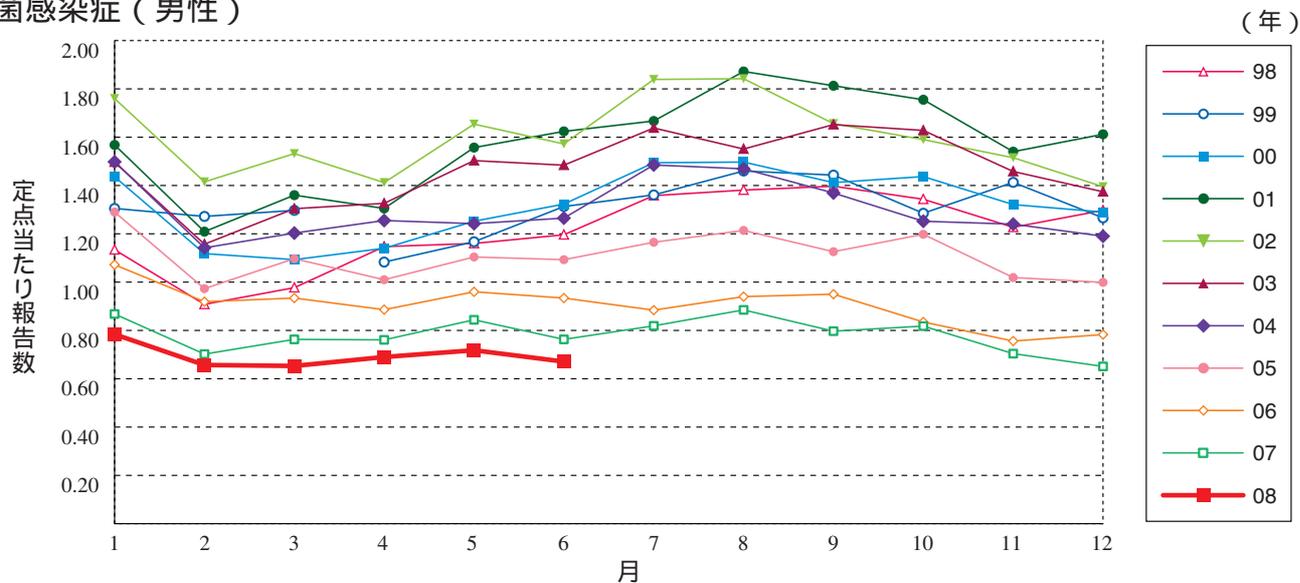
尖圭コンジローマ (女性)



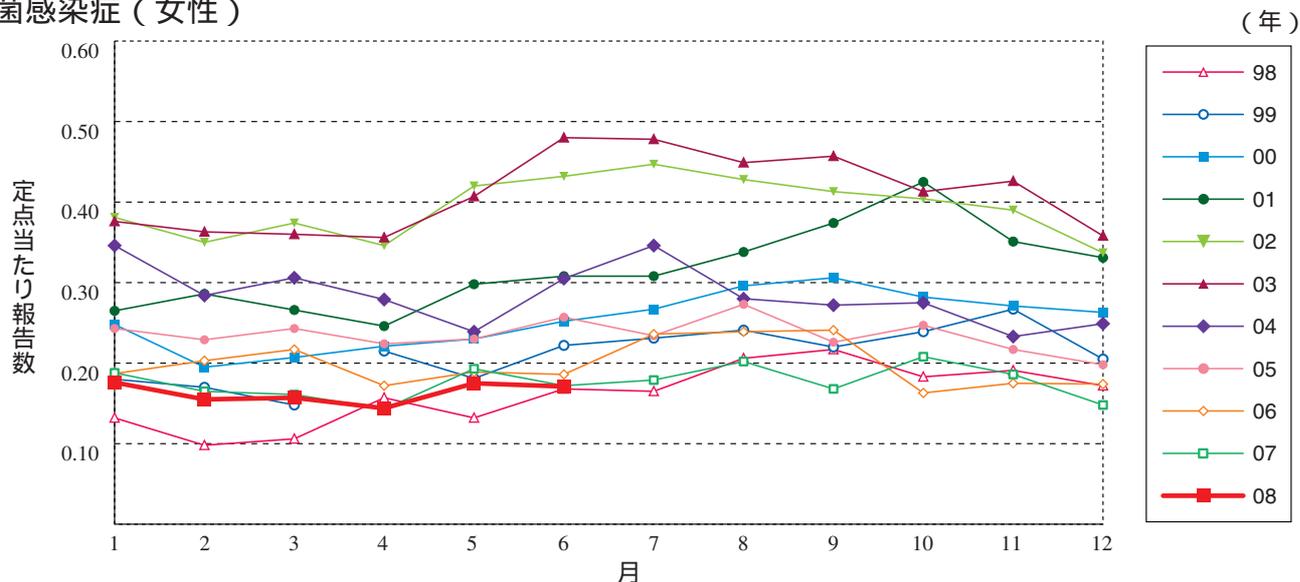
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

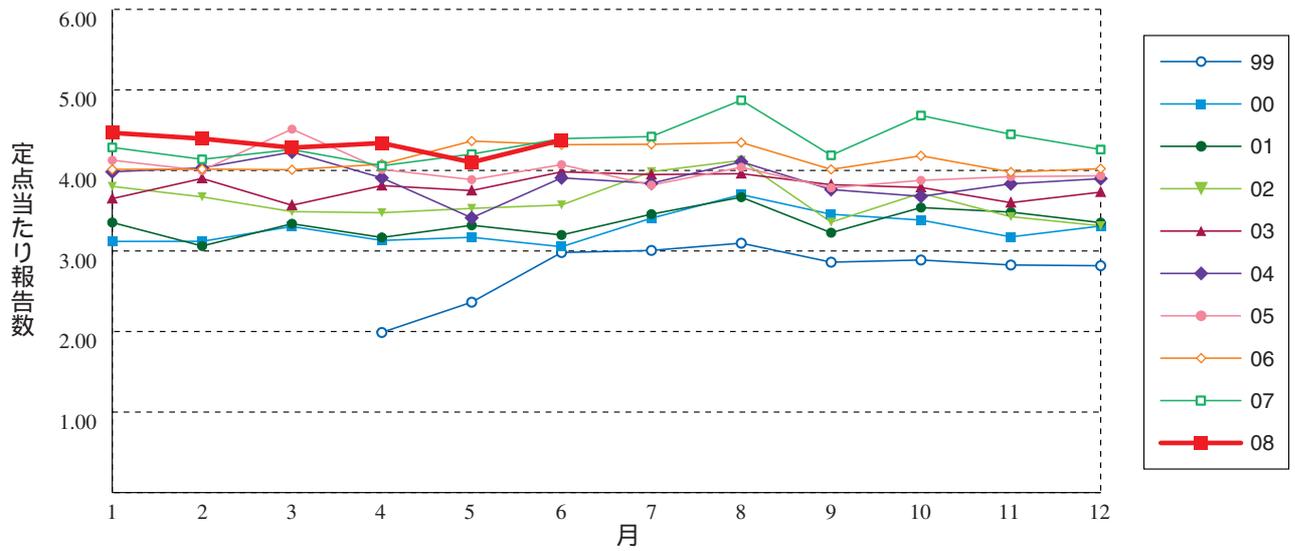


淋菌感染症 (女性)



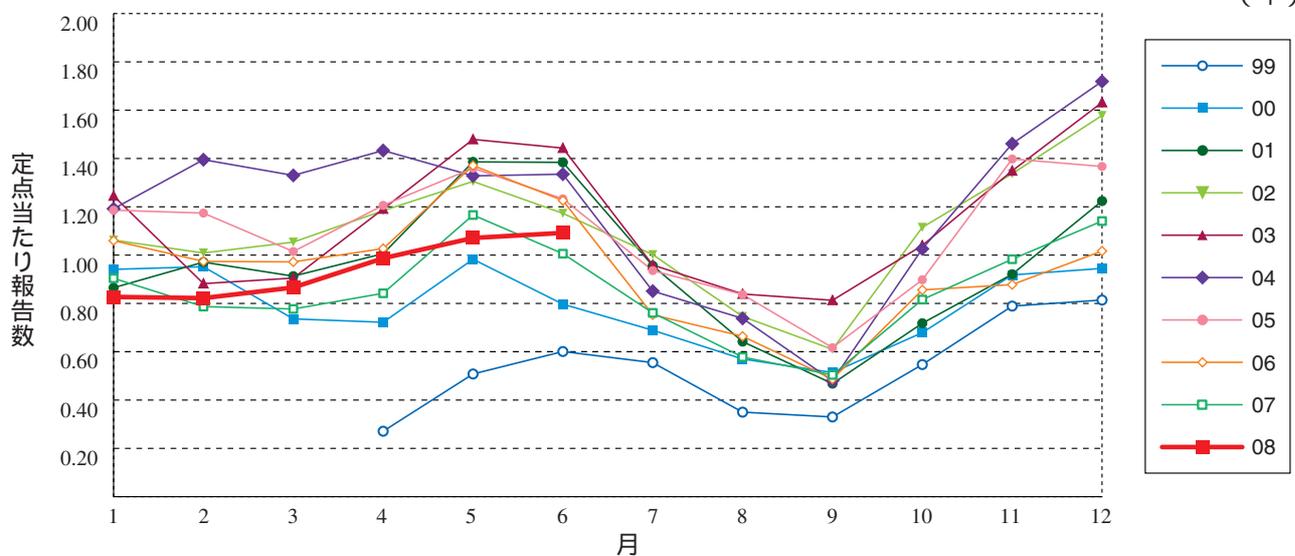
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



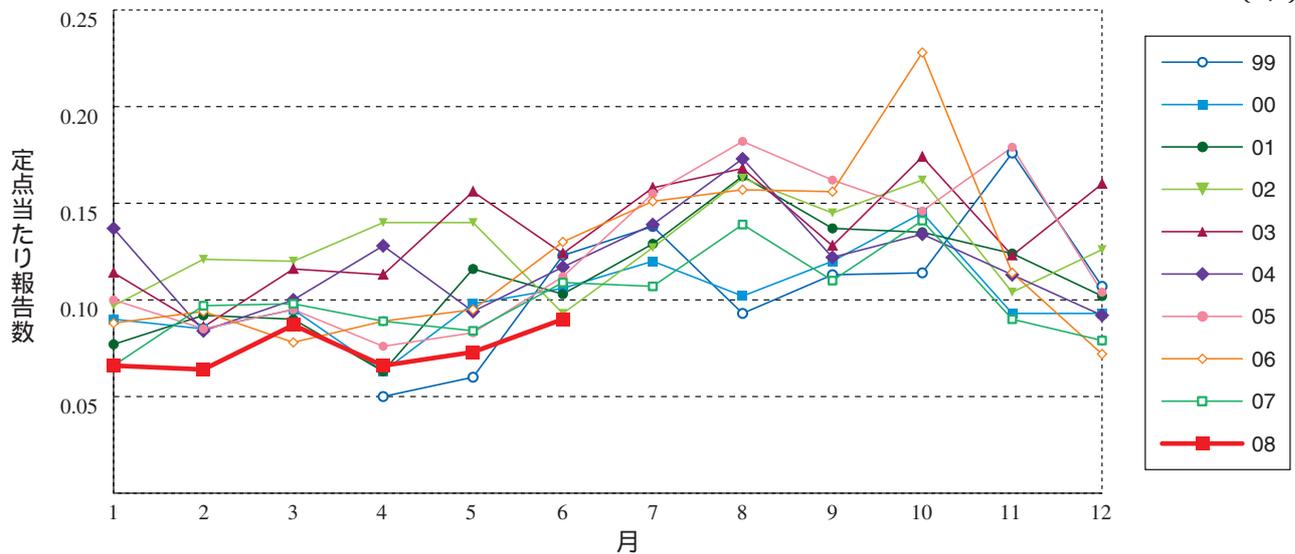
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





6月のデータ

注 7月10日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

2008年6月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2646	2.73	726	0.75	504	0.52	817	0.84	2044	4.38	510	1.09	42	0.09
北海道	182	4.33	27	0.64	28	0.67	40	0.95	48	2.09	8	0.35	-	-
青森県	30	2.31	9	0.69	5	0.38	9	0.69	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	32	2.13	9	0.60	5	0.33	9	0.60	89	4.45	11	0.55	5	0.25
宮城県	57	3.00	20	1.05	22	1.16	23	1.21	41	3.42	16	1.33	1	0.08
秋田県	19	1.36	10	0.71	8	0.57	8	0.57	35	4.38	1	0.13	-	-
山形県	12	1.20	4	0.40	2	0.20	5	0.50	41	4.10	24	2.40	7	0.70
福島県	76	4.75	18	1.13	10	0.63	21	1.31	39	5.57	4	0.57	1	0.14
茨城県	131	5.95	18	0.82	3	0.14	13	0.59	43	3.31	-	-	-	-
栃木県	54	3.18	9	0.53	16	0.94	25	1.47	60	8.57	3	0.43	3	0.43
群馬県	97	3.73	17	0.65	6	0.23	12	0.46	22	2.75	14	1.75	-	-
埼玉県	132	2.36	32	0.57	21	0.38	42	0.75	30	3.33	16	1.78	-	-
千葉県	82	2.22	35	0.95	25	0.68	21	0.57	42	5.25	64	8.00	-	-
東京都	270	4.91	81	1.47	93	1.69	109	1.98	118	5.13	60	2.61	-	-
神奈川県	97	1.64	39	0.66	17	0.29	35	0.59	27	3.00	23	2.56	-	-
新潟県	19	1.36	11	0.79	1	0.07	12	0.86	122	9.38	52	4.00	5	0.38
富山県	17	1.70	6	0.60	5	0.50	4	0.40	26	5.20	7	1.40	1	0.20
石川県	12	1.20	-	-	1	0.10	6	0.60	22	4.40	1	0.20	-	-
福井県	12	2.40	2	0.40	-	-	3	0.60	27	4.50	6	1.00	1	0.17
山梨県	21	2.33	12	1.33	2	0.22	-	-	17	1.70	3	0.30	1	0.10
長野県	30	1.88	5	0.31	6	0.38	10	0.63	28	2.55	5	0.45	-	-
岐阜県	16	1.14	9	0.64	5	0.36	13	0.93	19	3.80	5	1.00	-	-
静岡県	60	2.00	10	0.33	15	0.50	11	0.37	65	6.50	9	0.90	1	0.10
愛知県	170	2.66	76	1.19	51	0.80	62	0.97	105	6.56	8	0.50	-	-
三重県	23	1.53	5	0.33	3	0.20	2	0.13	32	3.56	-	-	-	-
滋賀県	3	0.33	3	0.33	1	0.11	-	-	73	10.43	-	-	-	-
京都府	35	1.52	9	0.39	3	0.13	4	0.17	12	1.71	-	-	-	-
大阪府	298	4.52	62	0.94	57	0.86	92	1.39	77	5.50	10	0.71	1	0.07
兵庫県	91	1.98	26	0.57	15	0.33	21	0.46	26	2.17	1	0.08	2	0.17
奈良県	11	1.22	1	0.11	3	0.33	6	0.67	36	6.00	11	1.83	-	-
和歌山県	13	1.63	3	0.38	-	-	3	0.38	39	3.55	4	0.36	1	0.09
鳥取県	63	12.60	10	2.00	3	0.60	27	5.40	16	3.20	3	0.60	-	-
島根県	13	2.17	3	0.50	2	0.33	3	0.50	46	5.75	10	1.25	-	-
岡山県	47	2.61	7	0.39	4	0.22	22	1.22	15	3.00	-	-	1	0.20
広島県	51	2.22	15	0.65	14	0.61	24	1.04	136	6.48	35	1.67	1	0.05
山口県	24	2.00	8	0.67	3	0.25	13	1.08	66	7.33	23	2.56	1	0.11
徳島県	22	3.67	7	1.17	7	1.17	5	0.83	9	1.29	-	-	-	-
香川県	18	1.20	8	0.53	7	0.47	9	0.60	25	5.00	2	0.40	-	-
愛媛県	14	1.27	4	0.36	2	0.18	8	0.73	16	2.67	1	0.17	-	-
高知県	4	0.67	-	-	1	0.17	1	0.17	35	5.00	16	2.29	-	-
福岡県	92	2.42	28	0.74	11	0.29	33	0.87	39	2.60	14	0.93	-	-
佐賀県	14	2.00	2	0.29	-	-	8	1.14	22	3.67	6	1.00	1	0.17
長崎県	21	2.10	10	1.00	2	0.20	4	0.40	49	4.45	1	0.09	1	0.09
熊本県	54	4.15	23	1.77	11	0.85	10	0.77	67	4.47	3	0.20	1	0.07
大分県	13	1.30	9	0.90	2	0.20	2	0.20	39	3.55	12	1.09	3	0.27
宮崎県	36	2.77	9	0.69	2	0.15	6	0.46	27	3.86	6	0.86	-	-
鹿児島県	27	1.69	13	0.81	2	0.13	12	0.75	30	2.50	1	0.08	3	0.25
沖縄県	31	2.58	2	0.17	2	0.17	9	0.75	42	6.00	11	1.57	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

2008年6月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1139	1.17	293	0.30	266	0.27	651	0.67	1288	2.76	310	0.66	31	0.07
北海道	38	0.90	6	0.14	9	0.21	16	0.38	30	1.30	5	0.22	-	-
青森県	11	0.85	5	0.38	4	0.31	8	0.62	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	17	1.13	5	0.33	4	0.27	6	0.40	56	2.80	3	0.15	3	0.15
宮城県	30	1.58	3	0.16	14	0.74	19	1.00	28	2.33	12	1.00	1	0.08
秋田県	12	0.86	6	0.43	4	0.29	6	0.43	15	1.88	1	0.13	-	-
山形県	4	0.40	-	-	-	-	3	0.30	26	2.60	16	1.60	7	0.70
福島県	39	2.44	7	0.44	4	0.25	20	1.25	22	3.14	3	0.43	-	-
茨城県	43	1.95	2	0.09	1	0.05	8	0.36	24	1.85	-	-	-	-
栃木県	30	1.76	5	0.29	10	0.59	23	1.35	34	4.86	2	0.29	2	0.29
群馬県	45	1.73	5	0.19	2	0.08	9	0.35	16	2.00	11	1.38	-	-
埼玉県	50	0.89	7	0.13	8	0.14	36	0.64	17	1.89	11	1.22	-	-
千葉県	31	0.84	26	0.70	17	0.46	18	0.49	30	3.75	33	4.13	-	-
東京都	126	2.29	51	0.93	63	1.15	90	1.64	78	3.39	37	1.61	-	-
神奈川県	55	0.93	13	0.22	10	0.17	32	0.54	15	1.67	16	1.78	-	-
新潟県	10	0.71	4	0.29	1	0.07	10	0.71	75	5.77	36	2.77	4	0.31
富山県	11	1.10	2	0.20	3	0.30	4	0.40	16	3.20	1	0.20	1	0.20
石川県	6	0.60	-	-	-	-	6	0.60	12	2.40	-	-	-	-
福井県	11	2.20	2	0.40	-	-	3	0.60	19	3.17	2	0.33	1	0.17
山梨県	3	0.33	-	-	-	-	-	-	13	1.30	3	0.30	-	-
長野県	10	0.63	2	0.13	3	0.19	8	0.50	17	1.55	3	0.27	-	-
岐阜県	12	0.86	7	0.50	3	0.21	12	0.86	7	1.40	5	1.00	-	-
静岡県	26	0.87	4	0.13	7	0.23	7	0.23	44	4.40	8	0.80	1	0.10
愛知県	98	1.53	26	0.41	27	0.42	46	0.72	71	4.44	4	0.25	-	-
三重県	6	0.40	2	0.13	1	0.07	2	0.13	22	2.44	-	-	-	-
滋賀県	1	0.11	2	0.22	-	-	-	-	44	6.29	-	-	-	-
京都府	4	0.17	2	0.09	1	0.04	4	0.17	7	1.00	-	-	-	-
大阪府	81	1.23	25	0.38	21	0.32	65	0.98	51	3.64	8	0.57	1	0.07
兵庫県	36	0.78	15	0.33	10	0.22	20	0.43	17	1.42	1	0.08	2	0.17
奈良県	8	0.89	-	-	1	0.11	5	0.56	25	4.17	8	1.33	-	-
和歌山県	4	0.50	1	0.13	-	-	3	0.38	28	2.55	2	0.18	-	-
鳥取県	52	10.40	10	2.00	3	0.60	26	5.20	10	2.00	1	0.20	-	-
島根県	8	1.33	2	0.33	2	0.33	3	0.50	36	4.50	7	0.88	-	-
岡山県	21	1.17	-	-	2	0.11	18	1.00	11	2.20	-	-	-	-
広島県	26	1.13	1	0.04	7	0.30	22	0.96	82	3.90	20	0.95	1	0.05
山口県	8	0.67	3	0.25	2	0.17	8	0.67	41	4.56	11	1.22	1	0.11
徳島県	18	3.00	5	0.83	5	0.83	4	0.67	5	0.71	-	-	-	-
香川県	9	0.60	6	0.40	5	0.33	8	0.53	14	2.80	1	0.20	-	-
愛媛県	6	0.55	3	0.27	2	0.18	7	0.64	10	1.67	1	0.17	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	1	0.17	24	3.43	7	1.00	-	-
福岡県	50	1.32	13	0.34	4	0.11	26	0.68	21	1.40	8	0.53	-	-
佐賀県	11	1.57	1	0.14	-	-	6	0.86	15	2.50	4	0.67	1	0.17
長崎県	14	1.40	-	-	1	0.10	4	0.40	32	2.91	1	0.09	1	0.09
熊本県	9	0.69	5	0.38	4	0.31	8	0.62	43	2.87	1	0.07	-	-
大分県	7	0.70	2	0.20	1	0.10	1	0.10	25	2.27	8	0.73	2	0.18
宮崎県	19	1.46	2	0.15	-	-	5	0.38	12	1.71	1	0.14	-	-
鹿児島県	12	0.75	4	0.25	-	-	7	0.44	16	1.33	-	-	2	0.17
沖縄県	10	0.83	1	0.08	-	-	8	0.67	29	4.14	8	1.14	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

2008年6月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1507	1.55	433	0.45	238	0.25	166	0.17	756	1.62	200	0.43	11	0.02
北海道	144	3.43	21	0.50	19	0.45	24	0.57	18	0.78	3	0.13	-	-
青森県	19	1.46	4	0.31	1	0.08	1	0.08	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	15	1.00	4	0.27	1	0.07	3	0.20	33	1.65	8	0.40	2	0.10
宮城県	27	1.42	17	0.89	8	0.42	4	0.21	13	1.08	4	0.33	-	-
秋田県	7	0.50	4	0.29	4	0.29	2	0.14	20	2.50	-	-	-	-
山形県	8	0.80	4	0.40	2	0.20	2	0.20	15	1.50	8	0.80	-	-
福島県	37	2.31	11	0.69	6	0.38	1	0.06	17	2.43	1	0.14	1	0.14
茨城県	88	4.00	16	0.73	2	0.09	5	0.23	19	1.46	-	-	-	-
栃木県	24	1.41	4	0.24	6	0.35	2	0.12	26	3.71	1	0.14	1	0.14
群馬県	52	2.00	12	0.46	4	0.15	3	0.12	6	0.75	3	0.38	-	-
埼玉県	82	1.46	25	0.45	13	0.23	6	0.11	13	1.44	5	0.56	-	-
千葉県	51	1.38	9	0.24	8	0.22	3	0.08	12	1.50	31	3.88	-	-
東京都	144	2.62	30	0.55	30	0.55	19	0.35	40	1.74	23	1.00	-	-
神奈川県	42	0.71	26	0.44	7	0.12	3	0.05	12	1.33	7	0.78	-	-
新潟県	9	0.64	7	0.50	-	-	2	0.14	47	3.62	16	1.23	1	0.08
富山県	6	0.60	4	0.40	2	0.20	-	-	10	2.00	6	1.20	-	-
石川県	6	0.60	-	-	1	0.10	-	-	10	2.00	1	0.20	-	-
福井県	1	0.20	-	-	-	-	-	-	8	1.33	4	0.67	-	-
山梨県	18	2.00	12	1.33	2	0.22	-	-	4	0.40	-	-	1	0.10
長野県	20	1.25	3	0.19	3	0.19	2	0.13	11	1.00	2	0.18	-	-
岐阜県	4	0.29	2	0.14	2	0.14	1	0.07	12	2.40	-	-	-	-
静岡県	34	1.13	6	0.20	8	0.27	4	0.13	21	2.10	1	0.10	-	-
愛知県	72	1.13	50	0.78	24	0.38	16	0.25	34	2.13	4	0.25	-	-
三重県	17	1.13	3	0.20	2	0.13	-	-	10	1.11	-	-	-	-
滋賀県	2	0.22	1	0.11	1	0.11	-	-	29	4.14	-	-	-	-
京都府	31	1.35	7	0.30	2	0.09	-	-	5	0.71	-	-	-	-
大阪府	217	3.29	37	0.56	36	0.55	27	0.41	26	1.86	2	0.14	-	-
兵庫県	55	1.20	11	0.24	5	0.11	1	0.02	9	0.75	-	-	-	-
奈良県	3	0.33	1	0.11	2	0.22	1	0.11	11	1.83	3	0.50	-	-
和歌山県	9	1.13	2	0.25	-	-	-	-	11	1.00	2	0.18	1	0.09
鳥取県	11	2.20	-	-	-	-	1	0.20	6	1.20	2	0.40	-	-
島根県	5	0.83	1	0.17	-	-	-	-	10	1.25	3	0.38	-	-
岡山県	26	1.44	7	0.39	2	0.11	4	0.22	4	0.80	-	-	1	0.20
広島県	25	1.09	14	0.61	7	0.30	2	0.09	54	2.57	15	0.71	-	-
山口県	16	1.33	5	0.42	1	0.08	5	0.42	25	2.78	12	1.33	-	-
徳島県	4	0.67	2	0.33	2	0.33	1	0.17	4	0.57	-	-	-	-
香川県	9	0.60	2	0.13	2	0.13	1	0.07	11	2.20	1	0.20	-	-
愛媛県	8	0.73	1	0.09	-	-	1	0.09	6	1.00	-	-	-	-
高知県	3	0.50	-	-	1	0.17	-	-	11	1.57	9	1.29	-	-
福岡県	42	1.11	15	0.39	7	0.18	7	0.18	18	1.20	6	0.40	-	-
佐賀県	3	0.43	1	0.14	-	-	2	0.29	7	1.17	2	0.33	-	-
長崎県	7	0.70	10	1.00	1	0.10	-	-	17	1.55	-	-	-	-
熊本県	45	3.46	18	1.38	7	0.54	2	0.15	24	1.60	2	0.13	1	0.07
大分県	6	0.60	7	0.70	1	0.10	1	0.10	14	1.27	4	0.36	1	0.09
宮崎県	17	1.31	7	0.54	2	0.15	1	0.08	15	2.14	5	0.71	-	-
鹿児島県	15	0.94	9	0.56	2	0.13	5	0.31	14	1.17	1	0.08	1	0.08
沖縄県	21	1.75	1	0.08	2	0.17	1	0.08	13	1.86	3	0.43	-	-



28週のデータ

注) 表中の報告数は7月16日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累積に反映されます。
2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年28週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ ー ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	324	13601
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	345
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	275
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	101
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	203
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	115
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	154
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	248
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	172
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	99
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	652
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	756
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52	2128
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	678
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	187
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	111
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	97
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	74
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	159
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	239
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	332
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	1014
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	213
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	149
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	320
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	798
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	511
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	200
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	167
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	80
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	169
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	331
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	158
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	86
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	137
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	86
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	622
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	90
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	231
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	156
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	169
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	161
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	202
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	152

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年28週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	24	9	145	102	1250	-	27	-	18	1	28
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	18	-	2	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	19	-	-	-	-	1	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	35	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	7	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	7	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	31	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	9	-	6	2	19	-	4	-	1	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	8	46	-	-	-	2	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	3	5	33	12	84	-	6	-	4	-	5
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	13	4	71	-	3	-	3	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	4	39	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	30	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	13	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	48	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	5	33	-	2	-	1	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	4	53	-	1	-	1	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	68	-	3	-	4	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	12	11	71	-	-	-	2	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	37	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	20	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	11	-	1	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	26	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	20	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	8	8	71	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	80	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2	41	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	30	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	17	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年28週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	4	97	1	7	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	2	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年28週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	118	-	33
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	13
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年28週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年28週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21	-	4	-	3	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年28週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	16	430	-	1	-	-	3	442	4	120	-	103	-	4	5	83
北海道	-	-	-	13	-	-	-	-	-	10	-	1	-	8	-	-	1	1
青森県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	2	14	-	-	-	-	-	4	1	2	-	1	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-
福島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	5	-	1	-	6	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	1
群馬県	-	-	2	8	-	-	-	-	-	3	-	4	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	27	-	-	-	-	-	15	1	3	-	4	-	-	-	4
千葉県	-	-	1	12	-	-	-	-	-	18	-	2	-	3	-	-	-	2
東京都	-	-	1	39	-	-	-	-	1	93	2	18	-	5	-	2	-	11
神奈川県	-	-	2	22	-	1	-	-	-	44	-	5	-	4	-	-	2	10
新潟県	-	-	1	17	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	1
富山県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	1	19	-	-	-	-	-	9	-	5	-	2	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	14	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	1	5
愛知県	-	-	-	28	-	-	-	-	-	30	-	7	-	6	-	-	1	5
三重県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	15	-	-	-	-	-	15	-	2	-	1	-	1	-	1
大阪府	-	-	1	39	-	-	-	-	-	55	-	16	-	19	-	1	-	8
兵庫県	-	-	-	22	-	-	-	-	-	21	-	11	-	3	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	3	-	5	-	5	-	-	-	4
広島県	-	-	-	15	-	-	-	-	-	6	-	6	-	2	-	-	-	1
山口県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	3	-	-	-	-	1	5	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	1	19	-	9	-	3	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	2
熊本県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5	-	-	-	2
大分県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年28週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	68	14	761	1	41	-	10	-	-	12	432	2	53	-	-	3	43
北海道	-	1	-	12	-	1	-	1	-	-	-	8	-	3	-	-	-	4
青森県	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
福島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	2	-	19	1	1	-	1	-	-	2	14	-	2	-	-	1	6
千葉県	-	2	1	27	-	5	-	1	-	-	-	15	-	1	-	-	-	-
東京都	-	12	4	281	-	14	-	2	-	-	1	101	-	2	-	-	-	8
神奈川県	-	4	2	44	-	6	-	-	-	-	2	16	-	3	-	-	-	4
新潟県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	1
静岡県	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	1	26	-	2	-	-	1	3
愛知県	-	4	2	59	-	1	-	-	-	-	2	35	-	6	-	-	-	3
三重県	-	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
京都府	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	6	-	96	-	4	-	1	-	-	1	35	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	7	-	17	-	1	-	1	-	-	-	9	-	-	-	-	1	3
奈良県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	8	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
広島県	-	2	1	12	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	21	-	1	-	-	-	-	1	47	-	1	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	1
大分県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
鹿児島県	-	3	-	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年28週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総数	4	242	149	10232
北海道	1	10	20	1412
青森県	-	1	1	60
岩手県	-	2	-	9
宮城県	-	3	-	19
秋田県	-	1	1	157
山形県	-	-	-	15
福島県	-	2	-	21
茨城県	1	4	4	81
栃木県	-	4	-	35
群馬県	-	1	-	77
埼玉県	-	7	7	357
千葉県	-	8	37	949
東京都	-	29	11	1080
神奈川県	-	28	36	3390
新潟県	-	-	1	38
富山県	-	3	-	7
石川県	-	-	-	7
福井県	-	-	-	17
山梨県	-	-	-	10
長野県	-	12	1	56
岐阜県	-	1	-	17
静岡県	-	16	2	223
愛知県	-	3	1	184
三重県	-	5	-	41
滋賀県	-	1	6	33
京都府	-	1	10	173
大阪府	1	18	4	345
兵庫県	-	13	4	109
奈良県	-	2	1	12
和歌山県	-	2	-	35
鳥取県	-	-	-	5
島根県	1	1	-	4
岡山県	-	13	-	126
広島県	-	12	-	146
山口県	-	-	-	17
徳島県	-	1	-	3
香川県	-	1	-	10
愛媛県	-	1	-	11
高知県	-	1	-	5
福岡県	-	19	2	660
佐賀県	-	-	-	6
長崎県	-	3	-	32
熊本県	-	7	-	87
大分県	-	2	-	91
宮崎県	-	1	-	8
鹿児島県	-	2	-	21
沖縄県	-	1	-	31

*鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年28週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	201	0.04	2488	0.82	5558	1.84	11858	3.93	4657	1.54	8532	2.82	551	0.18	2417	0.80	150	0.05
北海道	5	0.02	135	0.95	291	2.05	295	2.08	238	1.68	86	0.61	20	0.14	77	0.54	3	0.02
青森県	-	-	31	0.74	41	0.98	75	1.79	88	2.10	5	0.12	6	0.14	22	0.52	2	0.05
岩手県	-	-	23	0.58	72	1.80	106	2.65	67	1.68	7	0.18	19	0.48	26	0.65	-	-
宮城県	-	-	17	0.28	89	1.48	291	4.85	90	1.50	39	0.65	10	0.17	63	1.05	-	-
秋田県	-	-	23	0.66	49	1.40	103	2.94	50	1.43	10	0.29	11	0.31	12	0.34	1	0.03
山形県	-	-	15	0.50	69	2.30	141	4.70	63	2.10	31	1.03	12	0.40	34	1.13	1	0.03
福島県	2	0.03	45	0.94	86	1.79	146	3.04	115	2.40	25	0.52	13	0.27	45	0.94	4	0.08
茨城県	-	-	49	0.66	172	2.32	185	2.50	127	1.72	71	0.96	22	0.30	37	0.50	3	0.04
栃木県	-	-	10	0.21	95	1.98	102	2.13	97	2.02	41	0.85	4	0.08	33	0.69	5	0.10
群馬県	2	0.02	50	0.81	90	1.45	249	4.02	123	1.98	282	4.55	8	0.13	56	0.90	2	0.03
埼玉県	-	-	204	1.30	541	3.45	752	4.79	320	2.04	306	1.95	74	0.47	123	0.78	11	0.07
千葉県	24	0.13	109	0.84	393	3.05	591	4.58	286	2.22	168	1.30	43	0.33	112	0.87	16	0.12
東京都	5	0.02	143	0.97	270	1.82	739	4.99	170	1.15	254	1.72	30	0.20	122	0.82	11	0.07
神奈川県	-	-	194	0.96	477	2.35	947	4.67	335	1.65	636	3.13	65	0.32	192	0.95	3	0.01
新潟県	7	0.07	111	1.85	121	2.02	162	2.70	115	1.92	119	1.98	36	0.60	57	0.95	7	0.12
富山県	-	-	15	0.52	80	2.76	139	4.79	41	1.41	217	7.48	-	-	15	0.52	-	-
石川県	4	0.08	20	0.69	30	1.03	64	2.21	38	1.31	233	8.03	6	0.21	20	0.69	5	0.17
福井県	1	0.03	14	0.64	42	1.91	126	5.73	53	2.41	20	0.91	-	-	22	1.00	1	0.05
山梨県	-	-	16	0.70	24	1.04	54	2.35	24	1.04	9	0.39	-	-	9	0.39	-	-
長野県	4	0.05	42	0.76	144	2.62	266	4.84	167	3.04	289	5.25	15	0.27	35	0.64	3	0.05
岐阜県	4	0.05	25	0.47	50	0.94	101	1.91	55	1.04	79	1.49	4	0.08	37	0.70	5	0.09
静岡県	-	-	49	0.57	141	1.64	381	4.43	100	1.16	508	5.91	7	0.08	69	0.80	9	0.10
愛知県	3	0.02	119	0.66	343	1.90	624	3.45	219	1.21	694	3.83	5	0.03	145	0.80	4	0.02
三重県	1	0.01	34	0.76	72	1.60	214	4.76	66	1.47	407	9.04	4	0.09	37	0.82	-	-
滋賀県	-	-	27	0.82	30	0.91	125	3.79	31	0.94	101	3.06	1	0.03	16	0.48	-	-
京都府	12	0.10	53	0.74	82	1.14	239	3.32	77	1.07	237	3.29	1	0.01	43	0.60	1	0.01
大阪府	1	0.00	208	1.09	369	1.94	791	4.16	282	1.48	572	3.01	28	0.15	165	0.87	3	0.02
兵庫県	1	0.01	119	0.93	193	1.51	482	3.77	159	1.24	371	2.90	10	0.08	91	0.71	5	0.04
奈良県	-	-	31	0.89	25	0.71	114	3.26	45	1.29	81	2.31	1	0.03	8	0.23	-	-
和歌山県	-	-	12	0.40	43	1.43	80	2.67	34	1.13	10	0.33	1	0.03	26	0.87	1	0.03
鳥取県	-	-	8	0.42	43	2.26	86	4.53	13	0.68	27	1.42	4	0.21	8	0.42	-	-
島根県	-	-	7	0.30	28	1.22	117	5.09	29	1.26	28	1.22	5	0.22	23	1.00	1	0.04
岡山県	2	0.02	24	0.44	49	0.91	212	3.93	49	0.91	109	2.02	18	0.33	29	0.54	1	0.02
広島県	-	-	44	0.61	98	1.36	248	3.44	92	1.28	164	2.28	26	0.36	61	0.85	10	0.14
山口県	-	-	23	0.46	127	2.54	205	4.10	106	2.12	182	3.64	5	0.10	45	0.90	4	0.08
徳島県	-	-	4	0.17	21	0.91	45	1.96	20	0.87	58	2.52	1	0.04	21	0.91	1	0.04
香川県	-	-	20	0.71	12	0.43	139	4.96	27	0.96	84	3.00	2	0.07	30	1.07	-	-
愛媛県	-	-	37	1.00	57	1.54	154	4.16	58	1.57	88	2.38	-	-	36	0.97	2	0.05
高知県	-	-	10	0.33	13	0.43	70	2.33	35	1.17	11	0.37	2	0.07	13	0.43	-	-
福岡県	2	0.01	95	0.79	253	2.11	648	5.40	204	1.70	237	1.98	6	0.05	129	1.08	17	0.14
佐賀県	-	-	15	0.65	13	0.57	56	2.43	46	2.00	107	4.65	-	-	29	1.26	-	-
長崎県	-	-	14	0.32	37	0.84	143	3.25	56	1.27	124	2.82	-	-	46	1.05	1	0.02
熊本県	-	-	25	0.52	43	0.90	276	5.75	58	1.21	134	2.79	-	-	45	0.94	1	0.02
大分県	-	-	44	1.22	87	2.42	289	8.03	59	1.64	289	8.03	13	0.36	43	1.19	-	-
宮崎県	2	0.03	26	0.72	90	2.50	214	5.94	61	1.69	433	12.03	6	0.17	53	1.47	2	0.06
鹿児島県	-	-	122	2.22	49	0.89	219	3.98	49	0.89	499	9.07	4	0.07	36	0.65	-	-
沖縄県	119	2.05	27	0.79	14	0.41	53	1.56	20	0.59	50	1.47	3	0.09	21	0.62	4	0.12

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年28週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	11834	3.92	1949	0.65	13	0.02	548	0.82	11	0.02	28	0.06	201	0.44	9	0.02	176
北海道	112	0.79	18	0.13	-	-	22	0.76	-	-	-	-	4	0.17	-	-	21
青森県	90	2.14	9	0.21	-	-	3	0.27	-	-	-	-	8	1.33	-	-	1
岩手県	56	1.40	7	0.18	-	-	13	0.93	-	-	-	-	11	0.55	-	-	-
宮城県	230	3.83	18	0.30	1	0.08	1	0.08	-	-	-	-	15	1.25	-	-	4
秋田県	42	1.20	40	1.14	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	129	4.30	17	0.57	-	-	5	0.63	-	-	1	0.10	3	0.30	-	-	-
福島県	139	2.90	10	0.21	-	-	15	1.25	-	-	1	0.14	14	2.00	1	0.14	17
茨城県	218	2.95	6	0.08	1	0.06	18	1.06	-	-	-	-	16	1.23	-	-	-
栃木県	259	5.40	26	0.54	-	-	3	0.25	-	-	-	-	7	1.00	-	-	3
群馬県	463	7.47	104	1.68	-	-	20	1.43	-	-	1	0.13	5	0.63	-	-	-
埼玉県	1142	7.27	88	0.56	1	0.02	33	0.79	-	-	-	-	9	1.00	1	0.11	-
千葉県	659	5.11	97	0.75	1	0.03	25	0.78	-	-	-	-	-	-	1	0.13	3
東京都	803	5.43	147	0.99	4	0.11	20	0.54	2	0.08	1	0.04	2	0.08	-	-	1
神奈川県	906	4.46	68	0.33	1	0.03	62	1.55	1	0.11	1	0.11	4	0.44	-	-	-
新潟県	70	1.17	23	0.38	-	-	12	1.09	-	-	-	-	-	-	3	0.25	-
富山県	99	3.41	7	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-
石川県	55	1.90	1	0.03	-	-	4	0.57	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-
福井県	61	2.77	11	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	34	1.48	6	0.26	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	243	4.42	20	0.36	-	-	1	0.09	1	0.09	-	-	2	0.18	-	-	3
岐阜県	179	3.38	115	2.17	-	-	2	0.18	-	-	4	0.80	2	0.40	-	-	1
静岡県	469	5.45	44	0.51	2	0.10	17	0.85	-	-	-	-	6	0.67	-	-	6
愛知県	1207	6.67	169	0.93	-	-	7	0.21	-	-	-	-	5	0.33	3	0.20	2
三重県	257	5.71	40	0.89	-	-	1	0.08	-	-	-	-	1	0.11	-	-	2
滋賀県	206	6.24	47	1.42	-	-	1	0.13	-	-	1	0.14	2	0.29	-	-	2
京都府	126	1.75	21	0.29	-	-	11	0.65	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	686	3.61	100	0.53	1	0.02	21	0.45	-	-	1	0.08	2	0.15	-	-	16
兵庫県	563	4.40	79	0.62	1	0.03	49	1.40	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	141	4.03	51	1.46	-	-	2	0.22	-	-	6	1.00	-	-	-	-	1
和歌山県	71	2.37	7	0.23	-	-	2	0.50	-	-	1	0.09	1	0.09	-	-	2
鳥取県	96	5.05	2	0.11	-	-	-	-	2	0.40	-	-	1	0.20	-	-	-
島根県	35	1.52	5	0.22	-	-	-	-	1	0.13	1	0.13	6	0.75	-	-	-
岡山県	122	2.26	30	0.56	-	-	17	1.42	-	-	2	0.40	4	0.80	-	-	2
広島県	312	4.33	20	0.28	-	-	31	1.63	-	-	1	0.05	2	0.10	-	-	4
山口県	119	2.38	20	0.40	-	-	8	0.89	-	-	-	-	5	0.56	-	-	-
徳島県	91	3.96	8	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	123	4.39	8	0.29	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	355	9.59	34	0.92	-	-	15	1.88	-	-	-	-	5	0.83	-	-	2
高知県	132	4.40	60	2.00	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.14	-	-	1
福岡県	221	1.84	139	1.16	-	-	21	0.81	-	-	-	-	-	-	-	-	22
佐賀県	82	3.57	61	2.65	-	-	2	0.50	-	-	1	0.17	6	1.00	-	-	-
長崎県	48	1.09	18	0.41	-	-	12	1.50	-	-	1	0.08	2	0.17	-	-	-
熊本県	94	1.96	28	0.58	-	-	16	1.78	-	-	1	0.07	-	-	-	-	1
大分県	118	3.28	13	0.36	-	-	7	1.40	-	-	-	-	1	0.09	-	-	-
宮崎県	118	3.28	92	2.56	-	-	7	1.17	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-
鹿児島県	46	0.84	9	0.16	-	-	14	2.00	4	0.33	-	-	3	0.25	-	-	-
沖縄県	7	0.21	6	0.18	-	-	12	1.20	-	-	-	-	39	5.57	-	-	54

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年28週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	13	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年28週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第10巻 第28号 2008年7月28日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。